

令和7年度使用中学校教科用図書

第2回海老名市教科用図書採択資料作成委員会

日 時 令和6年7月5日(金) 午前10時から

会 場 えびなこどもセンター201会議室

発言者	内 容
司 会	皆様おはようございます。 開会に先立ちまして、海老名市教育委員会伊藤教育長より挨拶申し上げます。お願いします。
伊藤教育長	教育長よりあいさつ
司 会	伊藤教育長はこれで退席いたします。 続きまして、委員会成立の確認をさせていただきます。この会は要綱第4条により委員の半数以上の出席で成立し、本日の出席者は10名です。よって本委員会は成立している旨お伝えいたします。 開会の言葉を麻生教育支援担当部長より申し上げます。
麻生担当部長	改めまして、おはようございます。お暑い中、そして、早い時間からお集まりいただき、ありがとうございます。今、教育長からありましたけれども、1日日程の委員会になりますので、皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。 これより、第2回採択資料作成委員会を開会いたします。
司 会	続きまして、小宮委員長よりご挨拶をいただきます。お願いします。
小宮委員長	皆様おはようございます。本当にお忙しい中、そして、本当に暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。着座にて失礼いたします。 第1回の会議でも説明がありましたけれども、本日までの教科書採択の経過を振り返りますと、6月24日から29日まで、市の教科書展示会を、ちょうどこの部屋かと思えますけれども、こどもセンターで開催いたしました。一般の市民の方々にも見ていただいたということです。また、中学校の教職員についても、全中学校へ教科書の見本本を1週間ずつ回覧していただきまして、本校においても教員たちがかなりじっくりと見ておりました。校長室にずっと1週間置いておいたんですが、個人個人でも見に来て、その後、教科でも集まって協議するというような形で意見を出させていたところなんです。 さらに、調査員会につきましては4市合同で3回実施いたしまして、教

	<p>科書を採択するに当たっての調査報告書を作成していただきました。</p> <p>本日の採択資料作成委員会では、調査員の調査報告書や学校意見の集計結果を基に意見をいただきまして、採択資料作成委員会報告書への記載内容の審議を進めさせていただきます。</p> <p>なお、採択資料作成委員会報告書の表記については、前回確認した国の通知にもありますように、どの教科書が優れているとか、どの教科書がいいという順位づけをするものではなく、各教科書の特長を示すものであるということを改めて確認させていただきます。</p> <p>どうぞ1日、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、ここからの進行は小宮委員長にお願いいたします。</p> <p>小宮委員長</p> <p>それでは、本日の日程と資料の説明及び本日の審議方法について事務局よりお願いいたします。</p> <p>麻生担当部長</p> <p>それでは、本日の日程について説明をさせていただきます。お配りしてあります次第をご覧ください。この後、9時30分より種目ごとに調査員からの報告を受け、その内容を審議させていただきます。途中で休憩を入れながら、午前中に国語から数学までを予定しています。昼休みは1時間程度で、委員の皆様にはお弁当とお茶を用意させていただきましたので、よろしければこの会場でお召し上がりください。午後は1時より開始して、理科から道徳までを午前中と同様に行います。最後に、学校意見をまとめた資料をお示しいたしますので審議させていただきます。閉会は16時頃を予定しております。長時間の会議となりますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、お手元の資料の確認をさせていただきます。資料は7点あります。今お話しした本日の次第、裏表になっているかと存じます。メモ用紙と表紙に書いてあるものが1部、そして令和6年度使用中学校教科用図書一覧。4番が教科用図書調査研究の結果、県の報告書になります。白くて分厚い表紙のものが1つあると思いますが、そちらが教科用図書調査研究の結果になっております。</p> <p>机上の真ん中に今、国語と書いてあるかと思いますが、そちらが教科書編修趣意書になります。</p> <p>6番目に教科書見本本、皆さんの机の1つ前の机に国語から数学までの見本本がありますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、事前に送付させていただいた黄色の表紙の調査報告書、以上7点になります。お手元に全ておそろいでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>なお、教科書見本本を除き、資料には自由に書き込みをしていただいて構いません。閉会時には、本日お配りさせていただきました資料及び事前</p>
--	---

に送付させていただいた資料は全て回収となりますので、よろしくお願いいたします。

引き続き、もう少し今の資料の説明、補足を含めてさせていただきます。

1点目、本日の次第ですけれども、今事務局からありましたが、裏面に今日のタイムスケジュール、両面のものがありますのでご参考にしてください。実際やり取りしていくとこのとおりに進まないこともあると思いますので、間に5分間、予備の時間を取りますけれども、このあたりを調整しながら進めていきたいと思います。進捗を鑑み、途中休憩を入れたいと考えております。

メモ用紙はホチキス留めのものが数枚ありますけれども、こちらは発行者、出版社ごとに枠がありますので、後で見返して参考になるようにメモ等にお使いいただければと思います。

3点目でございます。令和6年度使用中学校教科用図書一覧、A4、1枚ですけれども、こちらは今年度まで実際に海老名市の中学校で使っている、現状使っている教科書の一覧になります。ご参考にしてください。

続いて、白い厚い冊子になります。神奈川県教育委員会からのものですが、こちらは県の調査研究の結果冊子になります。こちらは県でも現場の教員による調査員を依頼しておりまして、その研究結果をかなり細かくまとめた調査報告書になっております。参考にしていただければと思います。

1点、この後の調査員とのやり取りの部分の参考になるところなのですが、この県の冊子を1枚めくっていただいて、表紙裏になります。表に発行者一覧、参考とございますが、この後、調査員の先生方とのやり取りの中で発行者は略称で呼ぶことがほとんどになりますので、ご参考にしていただければと思います。例えば東京書籍株式会社と毎回読むのはかなり時間がかかってしまいますので、東書というような略称でやり取りさせていただきますので、これを開いておいて、今はどの教科書、発行者について意見を交わしているか、ご参考にしていただければと思います。

続いて、教科書編修趣意書が机上にございます。

見本本についても前に置いております。種目によって、途中、入れ替えながら進めさせていただきます。

そして最後、7点目、黄色の表紙の調査報告書をご覧ください。これまでも何度か説明しておりますが、海老名市、大和市、綾瀬市、座間市の調査員、現場の先生方が合同で研究した結果がまとめられております。本日一番使う資料になりますので、内容についてもう少し説明させていただきます。

調査報告書を開けていただいて、ページ番号1、国語をご覧ください。国語という表題の下に総合資料というものがございます。そして、表になっておりまして、東書、三省堂、教出、光村と発行者がありますけれども、

	<p>こちらは各種目とも最初に総合資料というふうにとまとめているところがございます。もう1ページめくっていただくと、最初の表にありました東書について大きく1ページ、3ページ全面を使って説明がございます。この内容について東書の部分をぎゅっと要点を絞って、まとめた内容が総合資料として記載されているというつくりになっておりますので、ご参考にしてください。この後の調査員とのやり取りについては、こういった形で総合資料と発行者ごとの詳細のページを見比べながら進めていくことになろうかと思えます。</p> <p>調査員の先生方は総合資料の内容を中心に説明申し上げますが、各教科おおむね10分程度の時間を予定しております。内容について皆様方から質問等していただくこととなりますが、質問に限らず、ご感想、ご意見等がありましたらぜひご発言していただければと思います。</p> <p>その後ですけれども、こちらの報告書の後に、時間を置きまして学校意見。先ほど小宮委員長からもありましたけれども、学校見本本を回した各学校の意見については、後ほど審議するときにもまた別の資料として配付させていただきます。説明もそのときにさせていただきたいと思っております。</p> <p>ちょっと長くなりましたが、今日の流れについてのご説明になります。</p>
小宮委員長	<p>ただいまの説明について、ご質問等がありますでしょうか。</p> <p>司会なんですけれども、私からいいですか。私たちが具体的に何をどう協議するのかということをもう1度確認させていただきたいんですが、この黄色い表紙の調査報告書を全て教育委員会に資料としてあげるわけではないということでしょうか。</p>
麻生担当部長	<p>内容的に分量もかなりありますので、この調査報告書の中の特に各教科の総合資料という部分、まとめた部分について主に見ていただいて、この形で報告することについてご意見等をいただいて、何かありましたらここを修正するような形で報告したいと思います。</p>
小宮委員長	<p>そうしましたら、今のご説明をもう1度確認させていただきますが、黄色い表紙をめくっていただきまして、要するに国語の調査員の方たちは、3ページ、4ページ、5ページというふうにそれぞれの会社の特長をこのようにまとめていただいたんですけども、その中で特に1ページ、いっぱい書いていただいた中で、例えば東書であればこの2つを教育委員会に資料として出すということでもいいですかというような原案というふうに考えればいいんですよね。</p>

麻生担当部長	おっしゃるとおりでございます。
小宮委員長	なので、私たちはこの1ページを見ながら、調査員はこの2つを丸で上げてきたけれども、いや、実はこの2つよりも、3ページとかを見て、こちらのほうを上げたほうがいいのではないかとか、そういうことを協議する。もちろんここに書いていない、ここで自分たちが見た中で言ってもいいけれども、メインは3ページの中から1ページの1枠目を選ぶということでいいかどうかを協議するというイメージでよろしいですか。
麻生担当部長	はい。
小宮委員長	全ての資料を今ここで目を通すのは難しいことから、最小限のことで言う とそういう形ということで、保護者代表の方たちも何となくよろしいでしょうか。 (「異議なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	そういう形で3ページを見て、また1ページを見て、また次、4ページを見て、1ページを見てみたいという形で見えていくという形で理解いたしました。ありがとうございます。 ほかにご質問ありますでしょうか。 (「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	それでは、これより審議に入りたいと思います。先ほど事務局からの日程説明にありましたとおりに進めてまいりたいと思います。若干早いんですが、進めてもいいですか。
事務局	皆さんよろしいですか。 (「異議なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	もう調査員の方はいらっしゃっていますか。
事務局	みえております。
小宮委員長	それでは、国語から始めていきたいと思います。調査員をお呼びください。

調査員	<p>それでは、調査員のお二方においては、本当に忙しい中、教科書の調査、大変お疲れさまでした。調査結果の報告をお願いいたします。</p> <p>よろしくをお願いいたします。調査報告書3ページになります。発行者を順番にご説明させていただきます。</p> <p>まず、東京書籍「新しい国語」ですが、総合所見で「豊かな人間性と社会性を育み、生涯学び続ける姿勢を養えるよう、生徒の関心や発達段階を踏まえ提示されている」という形で、東京書籍は言葉の力というものを重視されています。論理的に思考し、豊かに表現し伝える力を言葉の力としていまして、言葉の力を重要視した学びができるようになっております。例えば1年生の「新しい国語」の64ページをお開きください。64ページのように、こちらは説明文の読み物教材なのですが、読み物教材の後ろに言葉の力という形で、オレンジ枠でこの単元でどんなことが読むときに必要なのかな、その言葉が持つ力として、ここでは、段落の役割、段落同士の関係というふうに読み物教材を通して学べるようになっていまして、66ページに進みますと、そこからここで学んだ言葉の力を確かなものとするための基礎的な力を養うための取組のページ、進んで68ページでは、ここで学んだことを実際に書くという実践を通して段階的に学べるようになっております。</p> <p>また、教科書3年間全部を通して『未来を考える9つのテーマ』ということで、一番最初のページに見開きで『未来への扉』という形でSDGsに関連するような9つのテーマで教科書の内容というか、教材が示されていて、例えば1年生ですと、平和、国際社会ということで、78ページには平和のバトンというものだったり、『科学と探求』という分野では、118ページには『私のタンポポ研究』という分野であったり、9つのテーマに沿った教材が配置されていて、これからの社会問題などを自分事として捉えながら学習できるようになっております。この9つのテーマに関しては、2学年にも、3学年にも付箋が貼ってあるところが全て大きなテーマに付随した教材になっていまして、様々な問題と向き合えるようになっております。</p> <p>東京書籍は以上です。</p> <p>では、4ページ目の三省堂をお開きください。</p> <p>三省堂は『領域別教材一覧』の中で、教材ごとに学習指導要領に示されている育成する資質・能力と単元の関連が分かりやすくまとめられています。そのため『何を学ぶのか』『どのように学ぶのか』『何ができるようになったか』ということを生徒が理解しやすいように工夫がされています。三省堂の教科書、2年生の6ページをお開きいただければと思います。6ページをお開きいただくと、系統別で、話す、聞く、書く、読むというテ</p>
-----	--

ーマがいろいろ書いてあると思うんですけども、そこでのつきたい力ということで思考力、判断力、表現力というところが学習指導要領にのって系統別でこのように示されていますので、非常に分かりやすく、子どもたちがつけるべき力が明確になっているかと思います。また、右下のところに二重丸、オレンジ枠の中にあると思うんですけども、そこに各教材冒頭の目標と対応して主な目標が各教材の最初に示されることで、子どもたちが身につける力を把握した上で見通しを持った学習に取り組めるような工夫がされています。

また、教科書54ページ、55ページをお開きいただくと、例えば「読むこと」に関する教材では、『学びの道しるべ』というものが示されていて、『思考の方法』が教材ごとにイラストで分かりやすく、その教材を読むときのヒントになるようなものとして示されています。これにより、教員の発話が減って、その分、子どもたちが主体的に取り組めるような工夫もされているのかなと思います。

あとは、ユニバーサルデザインの観点から、誰にでも読みやすく学びやすい書体が使われていまして、製本上、こちらは気づかれるか、分からないのですけれども、閉じにくい設計がされているので、教科書をぱっと開いて置いたときに平らのままというか、ページがぺらぺらとめくれないような工夫もされています。

三省堂は以上になります。

では、調査報告書、5ページ目になります。

教育出版「伝え合う言葉」についてです。こちらでは自分の考えを伝え合う場を設定できるようにということで、総合所見の方では『学びナビ』と書かれているかと思うんですけども、訂正させていただければと思います。こちら『みちしるべ』というものになります。大変申し訳ございません。この『みちしるべ』というものが単元の最後のところに示されておりまして、例えば1年生の教科書44ページをご覧ください。44ページに『みちしるべ』ということで学習の内容が書かれているのですけれども、自分の考えを伝え合おうというのが一番最後にあります。これはどの単元にも入ってきていて、そこで学んだこと、考えたことを相手に伝えるという場が毎度設けられています。また、今訂正させていただいた『学びナビ』では36ページ、単元に入る前のページになるのですけれども、読み物教材を通してどんなことを学ぶのかなというのが明確に分かりやすくなっていて、見通しを持って学習に取り組むことができるようになっています。

また、SDGsの視点でまとめた単元が全学年にあるということで、1年生の教科書80ページをお開きください。このような形でSDGsに関連する読み物教材が各学年に同じような形で取り入れられています。また、87ページでは、2018年8月、夏に鎌倉の由比ヶ浜海岸で鯨が打ち上げられ

	<p>たということで、同じ神奈川県民として親しみやすいような教材が取り入れられておりまして、つかみやすいものとなっております。</p> <p>教育出版は以上です。</p> <p>次は、6 ページ目をお開きください。</p> <p>光村図書です。かながわ教育ビジョンに関連して「たくましく生きる力」というところで、各教材の手引として『学びへの扉』と『学びのカギ』というものが示されています。そのため、資質・能力を使って、どのように課題を解決しながら進めるかということが非常に分かりやすくなっております。また、集めたカギは次の学びに生かせるというところについても、すごく意味があることなのかなと思います。1 学年の教科書 28 ページ、29 ページをお開きください。お開きいただくと、右の『学びへの扉』といったところではわざと縦で流れが示されているという工夫がされていまして、左側の 29 ページのほうがその『学びへの扉』を開くための『学びのカギ』となっております、こちらが横書きで示されています。毎教材、教材ごとにこのページが設定されていますので、こちらの発話が減りながら、子どもたちが主体的に、あとは見通しを持って学習に取り組めるという点の工夫がされています。</p> <p>それと、SDGs に関連したところでいうと、3 学年共通して情報活用能力に関連づけて、SDGs と情報を合わせて設定されていますので、社会へと視野を広げて、生徒の実生活や将来に生きる情報活用の方法を学べるように工夫されています。</p> <p>あとは、デジタルコンテンツが非常に充実しており、『書くことのミニレッスン』というところで、どのように書いていけばいいのかということが見通しを持てる形になって段階的に示されています。動画で分かりやすく示されていますので、生徒たちが目指すところがすごくはっきりとした状態で学習に取り組めるという工夫もされています。</p> <p>光村図書は以上です。</p>
小宮委員長	<p>それでは、ただいまの報告についてご質問をお受けするんですが、先ほどの訂正は重要かなと思いますので、もう 1 度確認させてください。教育出版の『学びナビ』を『みちしるべ』に替えるのは総合資料のほうになりますか。</p>
調査員	<p>総合資料になります。</p>
小宮委員長	<p>私たちが持っている資料でいうと、黄色い表紙 1 ページの 3 つ目の箱の『学びナビ』を『みちしるべ』に訂正するというので、これが教育委員会にあげる部分になりますので、その訂正はしっかり確認しておきたい</p>

	<p>と思います。</p> <p>それでは、皆様、ご質問等ありますでしょうか。</p>
和田委員	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>今の説明の中で、東京書籍、東書の1つ目の丸を説明する中で言葉の力を重要視するとありましたけれども、これは1つ目の丸の提示されている具体として言葉の力という理解でよろしいでしょうか。</p>
調査員	<p>言葉の力を通して読み物教材を読むというところで、この中で「豊かな人間性と社会性を育み」というところで、一番テーマになっているものが言葉の力だったと捉えています。</p>
和田委員	<p>具体的な例として言葉の力で、同じく光村も『学びへの扉』『学びのカギ』が1つ目の丸の具体的な工夫としてという理解でよろしいですね。</p>
調査員	<p>そうです。</p>
坂野委員	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>同じ言葉を使っても違う意味でそれぞれの教科書が使っているので、少し混乱したところがあるんですけども、例えば『みちしるべ』という言葉がほかの教科書にも使われているかと思うんですけども、教育出版の『みちしるべ』はさらにその先、学んだことを基にして、生徒それぞれが思考して表現していく、ここで言うと考えを伝えることにつながるものを『みちしるべ』と言っているんですけども、三省堂にも『学びの道しるべ』という言葉があるのですが、これについては、どちらかというところ、子どもが学ぶために必要な資質、能力、子どもがその教材を見通しを持って学べるようにするためのものというふうに捉えたんですけども、それで間違いないですか。</p>
調査員	<p>はい。</p> <p>三省堂は狙いに即した学習過程のことを『学びの道しるべ』と表現されているので、今、坂野委員がおっしゃられたとおりです。</p>
坂野委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
藤原委員	<p>お疲れさまでした。</p> <p>内容ではないですけども、表記で、3ページの『未来を考える9つのテーマ』の『科学と探求』の求の字はちょっと違うのではないかという気</p>

調査員	<p>がします。今の探求はもう「究める」のほうではないかなと思うので確認というのが1つ。</p> <p>この括弧は県の書類のルールで分けているんですか。普通の括弧、太括弧、二重の括弧というのは県の2ページの表記にのっっているという理解でいいですか。</p> <p>単元名については二重括弧を使っているというふうになっておりまして、単元名というのとは少しずれてしまうところがあるんですけども、一応単元名ということで、コーナー、テーマは二重括弧とさせていただきます。</p>
藤原委員	<p>4ページの三省堂の『何を学ぶのか』『どのように学ぶのか』『何ができるようになるのか』というのは教科書の中のテーマとしてあるということなんですか。そこが分からない。</p>
調査員	<p>一重かぎ括弧と二重かぎ括弧の明確な違いとしては、学習指導要領や教育基本法に載っているものに関しては一重括弧になります。それ以外のもので、教材に関することとか学習に使われるような言葉に関しては二重かぎ括弧となります。</p>
藤原委員	<p>では、教科書の中に使われているものを二重括弧にしているわけではないんですか。どちらかという、これはもう学習指導要領に近い内容ですよ。『何を学ぶのか』『どのように学ぶのか』というのは。だけれども、二重でいいんですね。</p>
調査員	<p>一応教科書の中に記載されている使われ方ということで二重かぎ括弧にしております。</p>
藤原委員	<p>分かりました。</p>
小宮委員長	<p>ご意見や感想もあわせて、ありましたらお願いします。</p>
大部委員	<p>報告ありがとうございました。</p> <p>感想になりますが、三省堂の説明をいただいたところで、ユニバーサルデザイン、UDの説明をされていたかなと思います。他の教科書には出てこなかったご説明かなと思いますので、そこが1つの売りという言い方もあれなんですけれども、なのかなとお話を聞いて感じましたので、可能であればそういったところを反映していただくのもいいのかなと感じま</p>

小宮委員長	<p>した。</p> <p>ほかはいかがですか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取りあげるかということ協議します。この報告書というのは、3ページから6ページの中から、1ページの総合資料の4つの発行者それぞれ2つずつ、この部分が特に特長であるというふう報告されています。この総合資料に加筆または削除すべき事項はありますか。先ほどの教出『学びナビ』が『みちしるべ』に替わっておりますが、そのほか藤原委員からご指摘いただいた「探究」という言葉についてはここにはあがってきていないという形にはなります。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>特にご意見がなければ、この内容を採択資料作成委員会の国語の報告書として記載してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この総合資料1ページを基に採択資料を作成し、教育委員会で報告したいと考えます。</p> <p>それでは、調査員の方は本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。どうぞご退席ください。</p>
調査員	<p>ありがとうございました。</p>
小宮委員長	<p>それでは続いて、書写をお願いします。教科書の調査、大変ご苦労さまでした。書写は市から1人ということで大変だったかと思えますけれども、これから報告をお願いしたいと思っています。調査結果の報告をお願いいたします。</p>
調査員	<p>それでは、順番にご説明します。調査報告書9ページになります。</p> <p>まず、東京書籍なんですけれども、かながわ教育ビジョンに示されている「思いやる力」に関連していて、教科書17ページをご覧くださいと、下のほうにユニバーサルデザインの書体について書かれています。あとは23</p>

ページにお礼状を書くというページがあるのですが、内容に外国人観光客という言葉が使われていて、多様性を認められるような配慮がされているのかなと感じました。また、この教科書に『教科関連マーク』というものがついていて、例えば 65 ページの防災のページの右下にクリップマークみたいなものがありまして、そこに防災学習とかと書いてあって、他教科との関連の意図、意識づけが図られているように感じましたというのが東京書籍です。

続いて、三省堂に移ります。

こちらはかながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連しているのかなと思いました。日常生活、社会生活で使う言葉や書き方、例えば手紙を書くとか、そういった社会生活で生かせるような工夫がされているのかなと思います。例えば 44 ページ『グループ新聞を作ろう』とかいうところは、いろいろな教科に役立てることができるのかなと思っております。また、冒頭部で小学校までの既習事項を振り返れるような『学習のはじめに』というフレーズが 6 ページからありまして、姿勢だったり、筆の持ち方だったり、小学校と関連づけたものがあって学びやすいのかなと感じております。

続いて、教育出版に移ります。

教育出版の大きな特徴は「幅広い知識と教養」が得られるのではないかなと思っています。かなり資料が多くて、例えば 79 ページを開くと、短冊と色紙のことが書いてあったりとか、平安時代のことが書いてあったりとか、88 ページですね。『日本建築と「書」』というページでは、かなり資料が多くて、知識がいっぱい詰め込まれているのかなと思いました。また、国語との関連も意識されていて、80 ページを開きますと「走れメロス」の一部分を硬筆できるように書いてあったりとか、次の 82 ページを開くと「枕草子」の冒頭部分が硬筆で練習できるようになっていたりして、国語との関連をかなり意識しているのかなと感じました。

最後に、光村に移ります。

光村は 78 ページをご覧くださいと、楷書と行書の使い分けとか、文字の使い分けについていろいろ書いてあったり、94 ページにも 3 年生バージョンの文字の使い分けのページがあったりします。また、日常に役立つ書式が 109 ページ以降に書いてありまして、かながわ教育ビジョンに示されているような「社会とかかわる力」が育まれるのではないかなと思いました。また、別冊『書写ブック』というものが見本本の最初のほうに挟まれているのですが、『書写ブック』の毛筆で習う教材を硬筆課題として設定されていて、書写の基礎・基本が身につけられるような工夫がされているかなと思いました。

以上で書写の調査報告を終わります。

小宮委員長	ただいまの報告について、ご質問ありますでしょうか。
坂野委員	7ページの総合資料の教育出版の最初の丸です。「書く力」「学び方」「活用する力」のところをもう少し詳しくご説明いただけますでしょうか。ここに書かれているということは、これが特長だということですよ。
調査員	はい、そうです。「書く力」については、教科書の中に硬筆でなぞれるページがたくさんありまして、見本を見ながら書く力は養っていけるのかなと思います。
坂野委員	すみません、ちょっと質問が足りなかったようです。その後に「生徒が自ら課題を見つけ、解決を図れるよう工夫されている」とあるので、そこをお願いします。
調査員	少々お待ちいただいてもいいですか。 「自ら課題を見つけ」というところは、例えば30ページを開いていただくと、この教科書の特長としてまず目標がありまして、そこから考えようというふうに移りまして、どう書くと楷書と行書を調和させることができるのかなという課題を自分で見つけまして、それを生かして、最後振り返ろうということで、自ら課題を見つけ、解決を図れるような流れになっているのかなと思いました。
小宮委員長	ほかにご質問ありますでしょうか。 (「なし」と呼ぶ者あり)
■■■委員	今の教育現場ではICTが結構活用されていると思うんですけども、その中でも、やっぱり文字を書く力はすごく大事だと思って、今めくらせていただいて、例えば中学3年生だったら願書の書き方一つでも、1つ1つの字を書く大切さがやっぱり……。書写だけでなく、ほかの授業においてもそうだと思うんですけども、それはこれからも、小学校、中学校、それ以降も大切だと思っていて、それに関することがここに分かりやすく、日常的に役立つとか書いてあるので、そういったことがすごく分かりやすかったなと思いました。感想です。
椋山副委員長	東京書籍は、さっきの先生の説明にもあったのだけれども、他教科とか、教科横断的な内容が結構あるなと思ったのですけれども、質問のところで

調査員	<p>聞けばよかったんだけど、ほかの教科書会社と一線を画している気がしたんですけど、ほかの3者は教科横断的なものとか、そういうものは取りあげられているのですか。</p> <p>取りあげられていたなという印象はあります。消防の防災新聞をつくるようなページはほかにも多くあったなと思っています。例えば光村 86 ページに、『職業ガイドを作ろう』というのがキャリアの部分にあたりとか、光村 98 ページにも『防災フェスタを開こう』というページがあったりしまして、ほかの教科書でも取りあげられてはいますが、三省堂も追記マークがあることで分かりやすくはなっているのかなと思います。</p>
梶山副委員長	<p>感想になるんですけど、私は国語の教員なので書写をやっていたけれども、昔の書写の教科書は本当に書く技術とか、そういうところに重点が置かれていたけれども、最近の書写の教科書は、そうやっていろいろな生活に結びつけるとか。ただ書く技術だけではなくて、先ほどもおっしゃっていましたが、願書とか、そういうところでは、とても子どもたちの興味関心を引くような内容になっているなと思います。ありがとうございました</p>
坂野委員	<p>感想です。おっしゃるとおり、書く必然がある教科書になっていると思いますので、どの教科書もすごく工夫が感じられます。さらに言えば、それを踏まえて、私たちは書写を通して子どもたちにどんな力をつけてもらいたいかということをごここで考えていく必要があるのかなと感じました。</p>
小宮委員長	<p>ほかはいかがですか。</p> <p style="text-align: center;">(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取りあげるかの協議に入ります。調査報告書でいうと、7ページの総合資料をご覧ください。調査員からはこの部分が特に特長であると報告されております。この総合資料に加筆または削除すべき事項はありますか。</p> <p>梶山副委員長、特に先ほどの教科横断的なというところはよろしいですか。</p>
梶山副委員長	<p>東書は、2つ目の丸にそのような内容が書いてあるのでいいと思います。</p>
藤原委員	<p>教出以外は全部かながわ教育ビジョンに関するところを抜いてあるんで</p>

調査員	すけれども、教出もかながわ教育ビジョンはあるんですけれども、そうではなく、あえて指導要領のほうを抜き出した理由は何かあるんですか。
藤原委員	いや、特にこれといった理由はないです。
調査員	結構これは恣意的にできてしまうから、こうやって公平性を担保する会議があるから、かながわ教育ビジョンのことより、こちらのほうがよかったと感じたということなのかなということなんです。
調査員	教育出版の特長は、やっぱり資料が多く、かながわ教育ビジョンの「社会とかかわる力」とか「思いやる力」とかよりも、教育出版はそちらのほうを強調しているのではないかなとは感じています。
小宮委員長	今、ご意見、ご質問と言われましたけれども、例えば11ページの教育出版、1ページのまとめたものを見ると、上から3つ目、かながわ教育ビジョンの部分も示されてはいるのですけれども、調査員からは、あえて学習指導要領のほうを書いたということですが、その辺をこの原案どおりでいくか、今のご説明を聞いた上でかながわ教育ビジョンに差し替えるかというご意見にもなろうかなと思うんですが。
藤原委員	いや、多分総合資料が一番特長的なところを抜き出すという判断でいいんですよね。なので、かながわ教育ビジョンの内容より、そちらのほうが悪かったということが確認できたからいいのではないかなと思います。
小宮委員長	<p>それでは、今、藤原委員からもこの7ページの原案でよろしいのではないかとご意見ありましたけれども、ほかの方々もよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、この7ページの内容を採択資料作成委員会の報告書として記載していきたいと思います。</p> <p>それでは、調査員の方は大変お疲れさまでした。ありがとうございました。ご退席ください。</p> <p>それでは続いて、社会（地理的分野）に入ります。調査員をお呼びください。教科書の調査、大変お疲れさまでした。調査結果の報告をお願いいたします。</p>
調査員	調査報告書15ページになります。お開きください。まず、社会（地理的

分野) からいきたいと思います。

社会 (地理的分野) ですが、まず、東書です。

教科書としては、見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す導入資料を記載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるような配慮がなされています。教科書14ページをお開きください。14ページには左下の部分にえんぴつマークの活動コーナーが設置されていて、このコーナーが小学校の既習事項、技能を活用するようなものになっていて、小中学校の連携を図るような形になっています。

次に、各章のまとめのページでは単元を貫く課題が記載されており、課題に対して生徒の理解が深まるような学習活動が設けられるなど工夫がされています。ここに関しては139ページをお開きください。139ページはオセアニア州のまとめのページになっています。右側の139ページでは「見方・考え方」を働かせて探究課題に答えようというまとめの活動になっています。こういったことを通して、生徒の見方、考え方を育てるような工夫がされているのかなと思いました。

あとは二次元コードが記載されていて、それぞれデジタルコンテンツにつながるような形になっています。東書の二次元コードでは各章ごとに分かれていて、NHK for Schoolであったりとか、問題とつながったりするような形になっていました。

では、16ページに移って、教育出版になります。

地図やグラフなどの諸資料にも『THINK!』のマークを記載して、常に課題意識を持って資料を読み取るような工夫がされています。教科書59ページをお開きください。59ページは原油の資料になっているんですけども、生産国から輸出先を考えるような問いが設定されています。こういった資料から資料の読み取り技能を高めるような工夫がされています。

また、ページの下の部分には、前出・後出箇所との関連を示すようなところがあります。ここに関しては175ページをご覧ください。175ページでは関連ということで、この教科書に載っている地理との関連、また、社会科ですので、歴史との関連が記載されている形になります。知識をつなげる、学んだことをつなげていくために工夫された記載なのかなと思いました。

また、二次元コードが記載されているんですけども、『まなびリンク』というものにつながるようになっています。ここに関しては独自の動画教材が見られるようになっていました。振り返り等にも使えるような形なのかなと感じました。

では、調査報告書17ページに移っていただいて帝国書院になります。

帝国書院では、単元のまとめでは、こちらも地図や写真、思考ツールなどの様々なツールを用いて地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされて

<p>小宮委員長</p>	<p>います。帝国書院の教科書では巻頭9ページに思考ツールの使い方というものが載っています。これが載っていることによって、他教科との学びの中で思考ツールを活用することができるのではないかなと思います。資質・能力を向上させるために設置されたのかなと思いました。具体的な内容としては、127ページにステップチャートでまとめが行える形になっています。</p> <p>また、各節で学習した内容について『未来に向けて』等の内容から、持続可能な社会の実現に向けて、自分事として捉えていくような工夫がなされています。『未来に向けて』というページが教科書の中に少しずつ入っているんですけども、大きく取り扱われているのは、やはり『日本の諸地域』のところになっています。教科書264ページをお開きください。ここでは、東北地方の学びから、災害から復興へということで、これからの復興の在り方を考えるような工夫がなされています。</p> <p>また、ページの見開き、右下には『確認しよう』『説明しよう』というのが各単元で設定されていますので、言語活動を行い資質・能力が育成されるような工夫がされています。</p> <p>では、最後になります。日文です。</p> <p>生徒の興味・関心が湧くように、写真などの資料が多く掲載されており、様々な地理的事象を読み取り、地理的な見方・考え方を働かせるような工夫がされていると思いました。比較的本文の内容が少なめになっている。厳密に全て調査したわけではないんですけども、主観ではありますが、文章としては少なく、資料が多く掲載されていると思います。</p> <p>また『議論してみよう』などの学習課題が設定されており持続可能な社会の実現に向け、多面的・多角的に考察し、表現する資質・能力が育成されるようになっています。教科書249ページをお開きください。ここでは関東地方の学習のまとめを行うページになっています。そこの最後のところで、東京への一極集中についてディベートをしようという項目になっています。今日的課題のところで学び合いの場面になるように設定されていると思います。</p> <p>また、各学習課題に二次元コードが掲載されており、動画の閲覧、その他、様々なリンクにつながるのが特長のかなと思っています。まとめのポートフォリオなんか記載されていて、いろいろなツールで使えるような形になっていました。</p> <p>社会（地理的分野）については以上になります。</p> <p>ただいまの社会（地理的分野）の報告について、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
--------------	---

和田委員	<p>調査ありがとうございます。お疲れさまでした。</p> <p>ご質問させてください。4者の中で帝国のみ二次元コード使用の記載がないのですが、帝国も当然二次元コードを記載されていると思うんですけども、それよりもこの3点を特長としてあげたいという理解でよろしいでしょうか。</p>
調査員	<p>総合資料には二次元コードの記載をさせていただいていないんですけども、今の教科書と比べて特に変わったところというところでの3点をあげさせていただいております。もちろん二次元コードについても、帝国書院のもの、すごくいいものが多いんですけども、今のものも変わらないので、よりよくなったところというところでのこちらの3点を記載させていただきました。</p>
大部委員	<p>報告ありがとうございました。</p> <p>今の二次元コードのところをつなげばいいんですけども、もし分かれば教えていただきたいんですが、教出は独自の動画があるという言い方をされたかと思うんですけども、逆にほかの教科書は、先ほどNHK for Schoolとかとおっしゃっていましたが、独自の動画はないですか。</p>
調査員	<p>自分が確認したところ、独自の動画ではないものでした。NHK for Schoolのコンテンツの中にあるものにつながるような形が多かったです。教出に関しては逆にNHK for Schoolのものがなく、独自動画でした。</p>
小宮委員長	<p>ほかいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>ご質問なければ、ご意見、ご感想等いかがでしょうか。</p>
藤原委員	<p>すみません、ちょっと基本的なことを聞いていいですか。各教科書の説明から総合資料を抜くではないですか。採択するときは総合資料だけが参考となるのですか。</p>
事務局	<p>総合資料だけになります。</p>
藤原委員	<p>そうすると、総合資料に抜くための観点というのは決めていないんですか。</p>

事務局	特にその観点というのは決まっていなくて、本当に調査報告書から調査員が特筆すべき点を総合資料としてあげているところになります。
藤原委員	私は神奈川のこちらのほうの仕事をしていたので、神奈川は観点が決まっているので、全部の教科書を同じ視点で抜くんですよ。だから、さっきみたいにデジタルがあったり、なかったりということは出てこなくて、そこから市町村が決めていくという感じなので、では、そこがないということなんですね。分かりました。
小宮委員長	本当にそれぞれの教科書の特長として、ワン、ツー、スリーを出しているということですね。
藤原委員	読んでみて、売りだと感じたところを書くということですね。
小宮委員長	ほかにご意見、ご感想、いかがでしょうか。 (「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	それでは、この社会（地理的分野）について、この報告書からどの部分を採択資料として取りあげるかの協議に入ります。13ページ、14ページの2ページありますけれども、総合資料をご覧ください。調査員からはこの部分が特に今おっしゃられたように特長であると報告されています。加筆または削除すべき点はありますでしょうか。
梶山副委員長	先生ご苦労さまでした。 さっきの二次元コードのところ、東書はNHK for Schoolとかが多いという話でしたね。言い方は悪いけれども、ほかから持ってきている気もするので、ほかの4者のうちの3者で二次元コードのことが書いてあるけれども、僕はあまり特長的ではないなと逆に聞いていて思い、何かほかのものにしたほうがいいのかと思ったんですけども、どうなのでしょう。別に調査員に聞くことではないと思うんですけども、我々の判断で違うもの、これ以外で特長的なものをあげたほうがいいのかと聞いていて思ったんですけども、どうなのでしょう。
小宮委員長	ほかの方で東書の二次元コードの内容について差し替えたほうがいいのかというご意見がなければ、この点については原案どおりという形になろうかと思えますけれども、梶山副委員長、よろしいですか。

梶山副委員長	はい。
小宮委員長	<p>ほかにこの総合資料についてご意見ありますでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この内容を採択資料作成委員会の社会（地理的分野）の報告書として記載してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この総合資料を基に採択資料を作成いたしまして教育委員会で報告したいと思います。</p> <p>それでは、同じ調査員が社会（地図）もやったださっているということで、資料は飛びます。39ページからになります。それでは、社会（地図）の報告をお願いいたします。</p>
調査員	<p>東書です。</p> <p>こちら『二次元コード』が記載されていて『Bee's eye』というものにつながる形になっています。これに関しては世界地図からそれぞれの写真に飛べるような形になっていて、読み取りやすいものになっていると思います。</p> <p>主要都市の鳥瞰図は構造物も詳細に記載されていて、東書のものでは112ページをお開きください。東京の鳥瞰図ということで、江戸末期のものと現在の東京とを見比べるページになっていて、視覚的に捉えることができるような工夫がなされています。</p> <p>また、SDGsや災害・防災に関する資料が豊富に掲載されていて、総合的な学習の時間などの「探究的な学び」もサポートするような工夫がなされていると思いました。これに関しては135ページをご覧ください。ここでは災害への備えということで、災害で起こり得る出来事が地図の上で分かりやすく記載されていると思います。東書については以上になります。</p> <p>次に、帝国になります。</p> <p>帝国では、世界の各州では、自然環境や生活、文化、産業などイラストを配した鳥瞰図があり、地域的特色を視覚的に捉えられるよう工夫されていると思いました。帝国のものでは鳥瞰図が世界の各州で分かれています。資料については31ページをご覧ください。アジア州、中国の資料という形で各州の資料が載っています。戻っていただいて、29ページ、30ページが鳥瞰図になっています。</p>

	<p>地図帳の中にQとありまして『Q地図で発見』というところで、地図の読み取りなどの地理的な技能だけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習にも活用できるように工夫されていると思います。具体的には各ページにQがありますので、見ていただけたらと思います。</p> <p>最後に、日本の一般図では、各地方の伝統や文化に関する地図や写真が掲載されており、伝統や文化の理解や継承と発展について考察できるようになっています。ここでは地図帳93ページ、94ページをお開きください。地図の中に図やイラストが入っていて、歴史との兼ね合い、関わりも見てとれるようになっています。社会（地図）については以上になります。</p>
小宮委員長	この社会（地図）についてご質問ありますでしょうか。
梶山副委員長	社会（地理）の教科書と社会（地図）の教科書は同じ教科書会社のほうがやりやすいのですか。
小宮委員長	これは教育委員会の場でも質問が過去出たことがあると思いますので、主観というよりはその関連性。要するにこちらの地図とリンク等があるのかどうかということでお答えいただければと思います。
調査員	関連性としましては、自分が調べたところだと、二次元コードを使うときには同じリンクに飛びますので、地図的なものを中心になって飛ぶような形になっているので、そこをリンクさせているということは扱いやすいのかなと思って、同じもののほうがいいのではないかなと思います。
小宮委員長	リンクしているというお答えとさせていただきたいと思います。 ほかにかがでしょうか。
	（「なし」と呼ぶ者あり）
小宮委員長	ご質問なければ、ご意見、感想等、いかがですか。小学校との関連というか、小学校の視点等では、社会（地図）、いかがでしょうか。
和田委員	先ほどの社会（地理的分野）のところもそうだったんですが、今回もまた帝国では二次元コードのことは総合資料に載せていないんですけども、それ以上の特長がある、帝国の地図にはそれに勝る特長があるということによろしいですか。
小宮委員長	39ページの部分ですね。

和田委員	勝るといのはよくないですね。それ以上に特長的な部分があったということで、総合資料にこの3点を載せたということによろしいですね。
調査員	はい。
小宮委員長	ほかいかがでしょうか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	それでは、どの部分を採択資料として取りあげるかの協議に入ります。先ほどの39ページの総合資料に加筆または削除すべき事項はありますでしょうか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	なければ、この内容を採択資料作成委員会の報告書として記載してよろしいですか。
	(「異議なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	それでは、この資料を基に資料を作成してまいりたいと思います。それでは、調査員の方、2つ、大変だったと思います。大変お疲れさまでした。
事務局	10分間休憩ということで、よろしくお願ひします。
	(休 憩)
小宮委員長	では、社会（歴史的分野）の調査員をお呼びください。 教科書の調査、大変お疲れさまでした。冊数も多く大変だったと思います。調査結果の報告をお願いいたします。
調査員	まず、東書からいきます。報告書21ページです。よろしくお願ひします。 まず、教科書6ページをお開きください。簡単に『教科書の使い方と学び方』と書いてあるのですけれども、「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という基本的な手順の中に、細かく『探究課題』とか『チェック&トライ』とか『探究のステップ』とかが書かれて、これが学習指導要領の第2章に示されている「社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力」に関連していると思ひました。そういう工夫がさ

れていると思います。

続いて、60ページをご覧ください。60ページの下、思考ツールのウェビングとか、62ページのステップチャートのような、今、学習指導要領でも言われている思考力を上げる上で、子どもたちの思考を整理する上でのツールの工夫などが教科書にも反映されていると思いました。東書は以上です。

続いて、教育出版をお願いします。

教育出版は200ページをご覧ください。『歴史を探ろう』というページが200ページ、201ページにあります。社会（歴史的分野）での教科書なんですけれども、ここでは、社会（地理的分野）だとか社会（公民的分野）に結びつくような資料とか、本文の内容だとかが記載されていて、学習内容を多面的・多角的に学ぶ上でのヒントとなるようなことが記載されていると思います。

続いて、8ページにお戻りいただいて『歴史にアプローチ』というページなんですけれども、小学校の学習内容を踏まえた上で、歴史の学習の進め方とか、歴史的な見方・考え方とかを認識させるようなヒントとなるようなページが記載されていることが工夫されていると思います。教育出版は以上です。

続いて、帝国です。

教科書26ページをお願いします。例年帝国はこのページがあるんですけども、『タイムトラベル』とあって、イラストでその時代の特徴を捉えるようなページが各時代用意されていて、授業もこの単元の導入部分で使ったり、あるいは次の時代を学習する上で前の時代と比較するようなときに使えたりしていて、とても工夫されていると考えます。

続いて、34ページをお願いします。これは来年度の、今回の教科書から新たに導入された『アクティブ歴史』というページなんですけれども、課題解決学習のヒントとなるような工夫がされているページなのかなと考えています。帝国は以上です。

続いて、山川です。

14ページをご覧ください。例えば第2章「古代までの日本」のページなんですけれども、各章の初めのページに同じように日本の歴史の年表と世界の歴史の年表が記載されていて、どうしても日本史をメインで扱ってしまうところがあるんですけども、世界と関わらせながら学習することはとても大事なので、こういうページは山川が工夫していると思います。そして、ほかの会社は「です・ます」調が基本的に多いんですけども、高校の学習と連携させるためにもという工夫もあると思うんですけども、「です・ます」調ではなくて「である」調で本文全般が書いてあることが他者と異なると思います。山川は以上です。

日文です。

10ページをご覧ください。10ページのように、導入部において、『歴史的な見方・考え方とは？』というページを設け、各単元の導入ページでは前後の時代と比較したり、その推移を読み取ったりする資料とかが掲載されていることが1つ特長だと思います。

続いて、22ページです。教科書のほぼ全ての見開きページに二次元コードがついていて、それをスキャンで読み取ることによって『ポートフォリオ』『イントロダクションムービー』『確認小テスト』などデジタルコンテンツと連携していることが充実している1つのポイントだと感じます。日文は以上です。

次に、自由社をお願いします。

64ページをご覧ください。『調べ学習のページ』ということで、ここでは修学旅行で行く奈良と京都というページが載っているんですけども、例えばこのページだったら修学旅行に、京都、奈良に行く学校がある中で、実際に体験してきたことと教室で学んだこととをしっかりと実社会と結びつけられるところが1つ工夫のポイントで、探究につながるころと考えています。

次に、67ページをご覧ください。『時代の特徴を考えるページ』ということで、白村江の戦いだとか、人物比較の問題とか、意見交換会とかいうところが、世界の歴史を背景として、多面的・多角的な視点で捉え、生徒たちの理解につながるポイントになっており、1つ工夫されているころと思います。自由社は以上です。

次に、育鵬社、お願いします。

26ページをご覧ください。『鳥の目』とか、『虫の目』とか、あまり聞き慣れない言葉が出てくるんですけども、その時代の大きな流れを捉える『鳥の目』。26ページに記載されているのは『虫の目』なんですけれども、その時代を象徴する資料を取り上げるような『虫の目』で見る、原始、古代とか、章ごとに学習がスムーズになるような工夫が1つされているころがポイントだと思います。

次に、29ページをご覧ください。29ページの下です。ほとんどのページにあるんですけども、『確認』と『探究』課題ということで、必ず『確認』『探究』という項目が設けられていて、教科書に基づいて学習を進めていくのであれば1つ工夫されているポイントなのかなと感じています。育鵬社は以上でございます。

学び舎、34ページをお願いします。

34ページ、35ページに『歴史を体験する 火と人類の歴史をさぐる』ということで、体験活動を入れながら、実際に歴史を学んでいくというのがあまりほかには見られない1つの工夫されたポイントかなと思います。

	<p>次に、15ページをご覧ください。ほかの教科書と比べて世界のことを記述している内容が多くて、例えばここは麦のことが書いてあるんですけども、世界的に歴史を捉えて記述されているようなページが後半にもこの教科書は結構出てくるんですけども、そこが工夫されているポイントだと思います。</p> <p>最後、令書です。</p> <p>順番が前後してしまうんですけども、実際の教科書はA5判で、かなり持ち運びが便利なところ、高校の教科書に近い。ほかの教科書にA5判はないので、持ち運びは便利と感じています。</p> <p>例えば17ページ、章の始まりなんですけれども、原始とか、時代のくくり、区分がしっかり記述され、ここから何時代、ここから縄文時代だよとか、ここから弥生時代だよというのが明記されていて、学習を進めていく中ではとても分かりやすく記述されていると感じています。</p> <p>令書は以上です。</p>
小宮委員長	<p>出版社の数がちょっと多いので、少し時間を取ります。まずはご質問ありましたらお願いいたします。</p>
田中委員	<p>調査、本当にありがとうございました。ご苦労さまでした。</p> <p>各者、二次元コードがかなりのページであるんですけども、各者、全体的に二次元コードの使い勝手ですとか、資料の豊富さですとか、その辺で何か特長的なことがありましたらお願いします。</p>
調査員	<p>分かりました。まず、自由社、育鵬社、学び舎、令書に関しては、二次元コードの記載がありません。東書、教出、帝国、山川、日文は、二次元コードの記載があるんですけども、その中でも東書と日文に関しては毎ページ、二次元コードの記載があり、資料ももちろん豊富です。教出に関しては、二次元コードの記載はあるんですけども、少なめだったかなという感じがします。帝国に関しては単元の初めなどに出てくる感じで、ワークシートとか動画にもアクセスしている。山川に関しては帝国と同じような感じでした。</p>
田中委員	<p>そうすると、東書が一番豊富と。</p>
調査員	<p>豊富でした。</p>
田中委員	<p>もう1点、令書は、今回資料は紙なんですけれども、A5判ということでご紹介いただいて、しかも、この教科書だけ縦書きなんです。写真が</p>

調査員	<p>ちょっと少な目という印象があるんですけども、その辺についてはかなり今までの教科書とイメージが違うんですけども、中身を見てみていかがでしたでしょうか。</p> <p>第一印象は、文字が多いなという印象はとてもしました。高校の教科書に近いのかなと感じていて、資料が少ないわけではなく、後ろのほうに資料が固まっている。逆にその資料に関しては時代ごとに分かれているから、分かりやすいと感じています。</p>
大部委員	<p>これだけの教科書の調査、お疲れさまでした。本当に大変だったと思います。ありがとうございます。</p> <p>すみません、細かいことをお聞きするような形になってしまうんですけども、2点、お願いします。</p> <p>1点なんですけれども、東書だったり、帝国だったり、いろいろ課題解決学習が設定されていて、取り組みやすいという表現があるかなと思うんですけども、育鵬社に関しては『資料活用』『TRY!』といった問題解決型という表記になっているので、そこの整理を皆さんのようにされたかな、もし分かれば教えていただきたいのと、これは大変勉強不足で、皆さんに違和感がなければあれなんですけれども、質問のところではないんですが、教出の「地理・公民との関連を示す『関連マーク』が付されており」というところ。すごくいいと思うんですけども、「カリキュラム・マネジメントを実現し」というのに私は若干違和感があって、カリキュラム・マネジメントは手段なのかなというところが、教育委員会の皆さんから何かご意見がもしかしたらあるかなと感じたところです。2つ目は、すみません、感想なんですけれども、問題解決、課題解決で何かあれば教えていただければありがたいです。</p>
小宮委員長	<p>それでは、1点目の課題解決学習に対して、問題解決型というところですね。</p>
調査員	<p>特に分けた意図はなくて、個人的にはほぼほぼ意味合いは一緒かなと考えております。課題解決学習も、問題解決学習も一緒だと感じています。</p>
小宮委員長	<p>教科書から拾ったとかではなく、表現上、そうしたということですか。</p>
調査員	<p>表現上、そうってしまったのかな。すみません、そこも詳しいところまでは分かりません。</p>
大部委員	<p>自分で課題を見つけて、目標を持ってみたいなのが恐らく課題解決かな</p>

小宮委員長	<p>とっていて、問題解決はもうある程度示されたものについて取り組んでいくというような違いがあるんですか。ちょっと分からないけれども、すみません、そのような感覚があったもので……。ありがとうございます。</p> <p>今のその差異について事務局で補足はできますか。</p>
事務局	<p>確認しないといけないかなとは思いますが。ただ、今、大部委員が言ったとおり、問題解決というよりか、課題解決なのかなという感じはするんですけども。</p>
小宮委員長	<p>合同で調査員の人たちが文言も含めてつくったと思うので、今明確にこれが違いだということが出なければ、理由は分からないけれども、そういう意図を持って書いたんだとこちらは捉えるしかないかなと思います。その意図の部分が分かればということで事務局にも聞きました。</p> <p>2つ目の部分は感想ということでよろしいですか。カリキュラム・マネジメントについてはちょっと表現がどうなのかなというご感想ですね。</p> <p>ほかにご質問ありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、ご意見、感想等ありましたらお願いいたします。</p>
和田委員	<p>感想になります。1人でこんなにたくさんの発行者の調査、ご苦労さまでした。</p> <p>今の説明を聞いた私の感想なんですけれども、帝国の『アクティブ歴史』というのにすごく興味を持ちました。私の感覚的ではあるんですけれども、歴史はどうしても知識の注入型で、受け身になりがちな学習を『アクティブ歴史』という学習の最後の振り返りのところで、生徒同士が意見交換を行い、対話的な学びを通してどんどん学習を深めていく。そういうのが実現しやすいコーナーだなと思いました。</p>
■■委員	<p>感想ですけれども、私も実は歴史をやっていて、一番思ったのが何で日本史と世界史が分かれているんだとずっととっていて、そういう意味では今回、世界とのつながりを意識された教科書が幾つかあったのはよかったなと思っています。感想です。</p> <p>意見として、実は教出、先ほどお話しありましたけれども、「カリキュラム・マネジメントを実現し」という文言はちょっと気になるかなと思います。</p>

小宮委員長	<p>後ほど協議のところでも触れさせていただきます。 ほかがご意見、ご感想いかがですか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>よろしければ、協議に入りたいと思います。総合資料は報告書19ページ、20ページとなりますが、今の質疑の中でも幾つか気になるところがあるのではないかと思います。加筆または削除すべき、または差し替え等についてご意見はありますでしょうか。先ほどの教出の「カリキュラム・マネジメントを実現し、」という表現がご意見のところではあったかと思いますが。</p>
大部委員	<p>ここのお気持ちというか、狙っている思いは幾つかあると思うんですが、こちらがなくても「学習内容を多面的・多角的に捉えなおすことができるように工夫されている」で通じるかなというのが私の感想としてあります。</p>
小宮委員長	<p>ほかに逆にこの点について残したほうが良いというご意見はありますでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>もしも残したほうがよいというご意見がなければ、総意として、決を採らせていただきたいと思います。確認します。19ページ、教出、1つ目の丸、2行目から「カリキュラム・マネジメントを実現し、」を削除して「『関連マーク』が付されており、学習内容を」という形に変えることに賛成の方、挙手をお願いいたします。</p> <p>(賛成者挙手)</p>
小宮委員長	<p>賛成多数ということで、この部分についてはカット、削除という形でいきたいと思います。 ほかにいかがでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この総合資料を基に報告書を作成いたしまして教育委員会で報告したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

<p>小宮委員長</p>	<p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>それでは、そのようにいたします。</p> <p>調査員の方は、本当にたくさんの調査、大変だったと思います。お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>それでは、社会（公民的分野）に入ります。調査員をお呼びください。おかけください。教科書の調査、お忙しい中、大変お疲れさまでした。</p> <p>それでは、公民的分野の調査結果の報告をお願いいたします。</p>
<p>調査員</p>	<p>では、よろしくお願いいたします。お手元の資料の31ページ、総合資料のほうをご覧ください。では、よろしくお願いいたします。</p> <p>教科書が全部で6つありまして、上から順番に内容を説明させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、東京書籍なんですけれども、教科書はお手元にありますか。10ページをご覧ください。</p> <p>社会科の中で「社会的な見方・考え方」を働かせるためのコーナーというのがそれぞれの教科書で工夫されて出ているところだとは思いますが、その中で東京書籍は10ページの左下のほうに虫眼鏡のマークがあると思うんですけれども、このような形で、こういうところにポイントを置いてちょっと考えてみようみたいな形で、それぞれの单元ごと、それぞれの学習内容ごとに、こういったものが設けられて学習するポイントをやってみようみたいな形になっています。そういった点が工夫されている点かなというふうに思います。</p> <p>また、本文以外のところに全て色がついているのも、東京書籍しかない特長といますか、見やすい工夫は、それぞれの教科書でされていますし、ユニバーサルデザインフォントを使用されているのも、ほかの教科書全てなんですけれども、色をつけて、色がついていないところが基本的には本文という形で載せているのは東京書籍だけなので、これもまた1つポイントなのかなと思います。</p> <p>また、東京書籍で一番ポイントとなっているのは、二次元コードの部分です。教科書の開いていただいている10ページのちょうど真ん中右側、中央部分、ここに載っている二次元コードなんですけれども、ほかの教科書と違って二次元コードの位置が全部一緒になっています。ほかのページを開いてもらっても、全て二次元コードがそれぞれの場所に、ほかの教科書に関しては单元ごとだったり、ページごとだったり、特設ページごとに掲載されていたりするんですけれども、東京書籍に関してだけ、この位置で固定になっています。</p> <p>開いてみると、中にもう打ち込めるようになっているワークシートだっ</p>

たり動画だったり、開くと章ごとには全部二次元コードの中身が一緒なんです。なので、単元ごとでつながるページは一緒なんですけれども、その中から選択すると見やすくできるという形になっていまして、その章ごとの動画を振り返ってみたり、また今後、クロームブックで様々なものを打ち込んで学習を進めていこうみたいな形も利用したりすることは可能なかなと思っています。

次は教育出版です。教育出版に関しては、ほかのものと比較しますと、学習意欲を高めるための工夫というところに今回注目して紹介させていただこうと思います。

教育出版の145ページをご覧ください。145ページです。

145ページの上のほうに、カラーバリエーションはとてもすてきなんですけれども、先ほどお話ししたとおり、色に関しては教育出版のほうが明確に本文を分けているところがあります。教育出版は『公民の技』というところが145ページの上のほうにあります。このような形で学習意欲を高めるためのこんなものがあるよ、こういうのを読み取ってみよう、こんな解説があるよみたいな形で、紹介するページがそれぞれのところに設けてあります。

また、教科書の99ページをご覧ください。教科書の99ページの一番右側のほうには、『公民の窓』があります。さっきは技だったんですけれども、窓という形で、今度はいろんなこんな見方もありますよみたいな解説コラムが掲載されています。

また、教科書63ページには『THINK!』、考えてみようということで課題が載っており、そんな形で学習意欲を高めるコラムなどが随所に設けられているのが特長かなと思っています。

続いて帝国書院になります。帝国書院は、総合資料の丸の2つ目にも書かせていただいたんですが、自分たちの生活との比較をしてみようというところが、それぞれの単元ごとに設けてありまして、例えば教科書の30ページをご覧ください。自分たちの生活の中で、過去の生活と自分たちの今の生活とを比較してみよう。また、31ページをご覧ください。31ページにも、今度は暮らしの中で憲法との関わりを探してみようという形で、今、自分たちが生活している中から読み取った形で、興味を持たせる工夫がされていると思います。

また、ほかの教科書と比較しますと、『未来に向けて よりよい社会を目指して』という視点で、SDGs関連のページが多く載っているのも特長的です。例えば巻頭の1ページ、一番最初の教科書の見開きページであったり、あと、ほかの教科書でも載っている部分もあるんですが、さらに26ページ、探究学習の中でSDGsと関連させながら考えてみようというページ、または113ページにも同様のページが載っています。そのような形で

SDGs 関連、そして実社会に結びつけて、自分たちの生活との比較を試みようというところが特長的な教科書です。

続いて、日本文教出版の教科書の説明をさせていただきます。生徒の興味関心を引き出すための工夫として説明致しますので、教科書の38ページをご覧ください。

最初の導入の部分で漫画を用いて、こんなやり取りの中で、こんな課題もあるよねみたいな形で、そこから『章の問い』を立てたり、学習の見通しを立てたりするような形で、単元や章がスタートしているのも、この教科書の特長かなと思います。

また、ほかの教科書と同様に、考えてみようだったり、チャレンジしてみようみたいな形で教科書の41ページ、1枚めくっていただくと、右上のほうに『アクティビティ』という形で、みんなで学び合いのページ、また教科書の78ページをご覧ください。78ページに、最終的にこんな形で話し合ってみようということで、一番最初にもお話しさせていただいた社会的な見方や考え方を通して、こんな視点で合意形成してみようという形で、グループワークができるようなコーナーなども効果的に組み込まれているのが特長になります。

続いて、自由社になります。

1枚めくっていただいて、自由社の特長は、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するという意識した内容が、ほかの教科書よりも2倍以上掲載されているのが特長かなと思います。

特長的なのが、教科書30ページをご覧ください。ほかの教科書にはない内容、ボリュームになっているページになりまして、家族愛、愛郷心、愛国心ということで、これだけで見開き2ページ使っています。

続いて、最後に育鵬社をご覧ください。育鵬社は『「他人事」ではなく『自分事』として現代社会をとらえる工夫がされている』と書かせていただきました。

教科書11ページをご覧ください。ほかの教科書にも同様のページはあるんですけども、こんな形で自分たちの生活と結びつけるようなイラストや興味関心を引くようなポイントが載っています。

また、教科書24ページ、25ページをご覧ください。ほかの教科書と比べて自分たちの生活と結びつけるために、本文以外の端のほうに自分たちの社会と結びつけるようなイラストだとか写真、そういうものが多く掲載されているのも育鵬社の特長かなと思います。

また、ほかの教科書同様に『見方・考え方』など、また『資料活用』『TRY!』など、教科書31ページなどに載っているんですが、内容を深く掘り下げるための言語活動の充実を図る工夫もされていると思います。

以上で説明は終わりになります。ありがとうございました。

小宮委員長	それでは、ただいまの報告についてご質問ありますでしょうか。
調査員	お願いします。
藤原委員	育鵬社の下の方の『探求』の「求」の字がやっぱり違うかなと。多分教科書も究めるのほうなので、これは総合資料なので。
調査員	すみません。
小宮委員長	これは訂正ということによろしいですか。32ページ、2つ目の箱、育鵬社の下から3行目の「探求」の「求」の字を研究の「究」に。
調査員	ありがとうございます。
小宮委員長	いかがでしょうか。
大部委員	先生、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。
調査員	ありがとうございます。
大部委員	すみません、先生にご質問というより、事務局に確認で根本のところすみません。 すごく丁寧に総合所見のほうに各教科書を整理してまとめてくださっているのですけれども、それは別に問題はないでいいのですか。
事務局	基本的には、否定的なものをあげずに肯定的なものをあげることにしているのと、どうしても基本的には説明の分量、ボリュームは全者そろえることとしています。もし意図が伝わりにくいと思われれば、この場で確認したほうがいいのかと思います。
大部委員	それだけ確認をさせていただきました。ありがとうございます。
小宮委員長	大部委員、具体ではありますか。
大部委員	東書の一番最初の丸ですとか、教出の丸ですとか、多分それぞれ載っているところから一部割愛して載っていたりとか、2つの丸をまとめて表記されているなというところ、これを確認させていただきました。

調査員	ありがとうございます。
小宮委員長	<p>33ページから先のものを見比べてということですね。</p> <p>私、司会なのですけれども、質問していいですか。32ページ、自由社の1つ目、我が国と郷土を愛することを意識した内容がというこの意識した内容という表現があまりないかなと。ほかでは取り扱っているとか、そういう表現のほうが普通かとは思いますが、この意識した内容という言葉を選んだ、もし意味がありましたら、お願いします。</p>
調査員	<p>いえ、自由社の特長が伝統と文化を尊重するということに注目していたので、ここが一番特長として挙げられる点なのかなというところの意味しかなくて、意識したというところに関しては、言葉として適切だったかどうかは自分でも今、判断できません。</p>
小宮委員長	<p>先ほどご説明いただいた中だと、教科書そのものに本当にストレートに割と出ているかなと。なので、後でまた協議のところでは言うのですが、意識した内容というよりは、取り扱った内容とかのほうが普通の表現になるかと感じました。</p>
和田委員	<p>すみません、よろしくお願いします。</p> <p>東京書籍の説明の中で、見方、考え方のご説明がありました虫眼鏡マークと、もう一つの2つが特長的なところで示されているのですけれども、東京書籍、みんなでチャレンジコーナーもあるではないですか。</p>
調査員	はい、あります。
和田委員	<p>これについても特長として挙げようと候補には考えられたのでしょうか。</p>
調査員	<p>みんなでチャレンジ以外にでも、教科書40ページに、それぞれの單元ごとに、1節ごとに單元へのステップみたいな形で一番左側の縦に、こんなことに着目して考えてみようとか、そういうところも結構丁寧に扱っているところもあって、今のみんなでチャレンジ以外にも、こういうところとか、例えば、いろんな特長的な、115ページには未来へアクセスみたいな形で、結構現代社会との結びつきを図るようなコラムが書いてあります。そういうところもありまして、どれを載せるかすごく迷ったところもあります。なのですが、やはり特定の場所に二次元コードがある使いやすさとか、それをやはり推したほうがいいのかと思って、2つ目をこれに書か</p>

	<p>せていただきました。ありがとうございます。</p>
和田委員	<p>ここからは感想になるのですが、みんなでチャレンジコーナーと非常に対話的な学びがやりやすいようなところもあるので、でも、大丈夫です。そのような形で選択されたということで理解しました。</p>
藤原委員	<p>育鵬社の2つ目の丸だけに、授業改善の推進をサポートするというのがある、ここだけが職員目線でちょっと気になってしまうのですね。何でこの言葉を使ったのかというのをまず確認させてもらっていいですか。</p>
調査員	<p>育鵬社の教科書を考える際に、それぞれのいろいろなコーナーが設けられていたのですが、この中により内容を深く扱おうみたいなコーナーがあったのですが、それもただそういうふうに表現するのではなくて、自分たちが教科書を使うときに、アクティビティとか周りの主体的にいろいろな人と話し合ったりする活動を図るときに、どんな内容で話し合ったらいいのかみたいなことを悩んだり考えたりすることがあって、自分たちの授業のエッセンスとしても加えられるねということで、調査員として集まったときには、その視点も大事かなということで挙げさせていただいたのですが、確かにここにしかという部分であるので、一応そんな形で書かせていただきました。</p>
藤原委員	<p>逆に言えば、この探究とか、やってみようというのはほかの教科書にも結構載っていると思うのですよ。</p>
調査員	<p>はい、載っています。</p>
藤原委員	<p>なので、その効果としては、ほかの教科書もそこは変わらないと。</p>
調査員	<p>そうです。</p>
藤原委員	<p>分かりました。</p>
小宮委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、ご意見、ご感想はありますか。</p>

藤原委員	<p>先ほどの授業改善の視点は、教科書で授業をつくるということはリンクしているのですけれども、でも、生徒の能力の育成という視点だけは何か貫いてもいいのかなと思うので、私はここに違和感をすごく感じます。</p>
小宮委員長	<p>後ほど協議のところでは取り上げさせていただきます。 ほかにご意見ありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかの協議に入りたいと思います。</p> <p>まず、31ページ、32ページの総合資料の中から、加除修正すべき案、ご意見ありますでしょうか。</p> <p>まず、今、藤原委員のほうからいただいた育鵬社、2つ目の丸のところですね。この部分の修正について協議をしたいと思います。</p> <p>具体的な修正案というのはいかがでしょうか。</p>
藤原委員	<p>「深い学びの実現に向け」だけでいいのではないですか。『確認』『探究』『見方・考え方』『TRY!』『やってみよう』などの言語活動の充実が図られている」。それでこの文章は通じるんじゃないかなと思います。</p>
小宮委員長	<p>この点についてほかにご意見ありますか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、先ほどから一応議決というか、決を採らせていただいておりますので、その形でいきたいと思います。</p> <p>32ページ、育鵬社、2つ目の丸、1行目の終わりから2行目の半ばまでを削り、頭から読んだところで言うと「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け『確認』『探究』『見方・考え方』というふうにつなげるということではよろしいという方は挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（賛成者挙手）</p>
小宮委員長	<p>挙手全員と認めます。よって、この部分については削除ということできたいと思います。</p> <p>ほかにありますか。</p> <p>司会ですけれども、私としてはさらっと何も気にならなければ気になら</p>

	<p>ないところではあるんですが、先ほどの「意識した」というところに何か含みが出てこなければいけないという気がちょっとするところではあります。何か普通にストレートな表現になったほうがいいのかなというふうに思うんですが、どんな文章ならあり得るかな。下が「取り扱われている」で終わっているのです。</p>
藤原委員	<p>逆にちょっと確認ですいません、この『家族愛・愛郷心から』という単元以外にはどこがあったんですかね。等となっているから、どれぐらいあったんだろうと。</p>
調査員	<p>自由社ですか。</p>
藤原委員	<p>はい。</p>
調査員	<p>家族愛以外に、国歌国旗を考えようということで、これで2ページ、168ページ、169ページに、もっと知りたいというところに、2ページ載せています。また、領土問題に関しても、それぞれの教科書で扱われているんですけども、領土問題に関しては、いつもどおりというか、教科書の一番後ろの裏表紙のところの領土問題を載せているのも1つ特長的な教科書で、それ以外にも174、175ページにも載っています。</p>
藤原委員	<p>やっぱり記載が多いということですね。</p>
調査員	<p>多いです。あと、すみません、まだあって190、191ページには、拉致問題に関して全ての教科書が触れているんです。特に拉致被害者が帰ってくるところの飛行機からの写真を載せている教科書がほとんどの中で、2ページ使って説明しているところも含めてまとめさせていただきました。</p>
藤原委員	<p>分かりました。</p>
小宮委員長	<p>いろいろあるという意味で意識した内容という、そのままでも特に……。</p>
■■委員	<p>今の話を聞くと、この自由社はやっぱり意識をしていますね。そのまま感想を言わせてもらおうと。いい悪いとかは別にして。</p>
藤原委員	<p>調査員も、それが特長だって感じたこと自体は事実ですよ。それは多分まあそうなんだろうなというふうには受け取れると思います。あと文言ですよ。</p>

小宮委員長	私自身もちょっと逆に意識し過ぎているのかもしれないというところもあるので、このままさっさと行って、大丈夫かなという気もしますがけれども。
藤原委員	もし気になるなら、単純に事実として書けばいいので、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することという取扱いが複数あるとか、そういう表現、もし変えるならね。でも、どっちも一緒のような気がするんですけどもね。意識しというところですよ。
坂野委員	趣意書を見ても、趣意書の中には意識しているとは書かれていないので、やっぱりこれは「意識している」という主観かなと。おっしゃるとおり、私たちから見ると意識しているようには本当に見えるのですがけれども、やっぱり藤原委員の言うように事実を述べるほうが間違いないかなと思います。ここで言うと、「我が国と郷土を愛することを扱った内容が家族愛、愛国心など複数で取り扱われている」というように、もう事実だけ。
小宮委員長	<p>ありがとうございます。1つ文章の提案をいただいたということで、「我が国と郷土を愛することを扱った内容が家族愛、愛郷心から愛国心へなどで取り扱われている」。扱いが2つ増えても大丈夫かなという気がします。</p> <p>1つ、協議の案ということで形はまとまりましたけれども、これについてほかにご意見ありますか。</p> <p>それでは、決を採っていきたいと思います。</p> <p>自由社の1行目から2行目にかけて、我が国と郷土を愛することを扱った内容が家族愛、愛郷心から愛国心へなどで取り扱われている。複数と先ほどおっしゃいましたか。</p>
坂野委員	複数と言っていましたけれども、などでもいいんですけども。
小宮委員長	<p>そうですね。などで取り扱われているという形に変更することに賛成の方は挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p>
小宮委員長	<p>挙手全員と認めます。それでは、そのような文章に変えていきたいと思います。</p> <p>ほかにも協議すべき点はございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">(「なし」と呼ぶ者あり)</p>

小宮委員長	<p>それでは、今の2点をそのようにし、それ以外については、この総合資料を基に採択資料を作成して教育委員会で報告をしてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、調査員の方、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。</p>
調査員	<p>ありがとうございました。</p>
小宮委員長	<p>数学をお願いいたします。調査員をお呼びください。</p> <p>数学の教科書の調査大変お疲れさまでした。早速ですが、調査結果の報告をお願いいたします。</p>
調査員	<p>それでは、順番にご説明いたします。</p> <p>調査報告書の45ページになります。</p> <p>まず初めに、東京書籍の2年の教科書の233ページをお開きください。</p> <p>まず、ここにSDGsに関する教材を取り上げたり、ちょっとページは変わるのですが、90ページに戻っていただいて、90ページに数学と気象予報士、『数学×仕事』のコーナーで仕事の中で数学を活用している人を紹介したりなど、かながわ教育ビジョン、「社会と関わる力」を踏まえた教材配置になっていて工夫されています。</p> <p>また、確実に身につけたい基礎的な基本的な問題と、やや難しい難易度の高い問題が明確に分かるように、42ページの左下、問2のところハートマークがついていたりとか、あと、また219ページのところに星マークがついていたりなど、個に応じた学習ができるように工夫されています。</p> <p>次に、大日本図書です。</p> <p>大日本図書ですが、1年の教科書を開いていただいて、64ページのところに『海外に住む友達と交流しよう』というところがあったり、3年の教科書の74ページに『マグニチュードと地震のエネルギー』……。</p>
小宮委員長	<p>ちょっと速いのでゆっくりにしてください、皆さんが動き出すのを待ってください。</p>
調査員	<p>失礼しました。</p>
小宮委員長	<p>74ページです。</p>
調査員	<p>『マグニチュードと地震のエネルギー』の題材が掲載されていて、教科横断的な学習を実現できるように工夫がされています。あと、各章のスタ</p>

ートのところ、すみません、また1年の教科書に戻っていただいて、120ページの左側に『問題を見いだそう』、『解決の仕方を探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の4つのステップが例示されていて、学習の取組方が分かりやすく表記されています。

次に、学校図書です。

緑色の表紙の2年生の教科書の215ページをお願いいたします。このページでは、章末に必ずこのような『活用』というページがございます。『活用』では、生徒が実際に生活の中でもありそうな題材を扱っており、次のページの『深めよう』といったところで、章で学んだことをさらに深められるような、考えられるような題材が各章ごとに設定されております。

また、そのまま217ページの『さらなる数学へ』といったところでは、日常生活に生かせるものやSDGs、220ページではSDGsに関連した内容を扱っていたりします。これは、かながわ教育ビジョンの「社会にかかわる力」に関連して、数学と社会とのつながりが実感できるような工夫がされています。

また、2年生の教科書44ページをお願いいたします。ここでは、オレンジ色で『Question』と書いてありまして、その後に『目標』、明確に課題が設定されており、右側の45ページの下にあります『どんなことがわかったかな』といったところで、生徒自身が知識の確認をするような問いかけがされています。さらに、その右側『次の課題へ!』といったところで、さらに学習内容が深まるような一連の流れで基本的には構成されています。

続いて、教育出版です。

教育出版2年生の教科書の45ページをお願いいたします。

学習指導要領で示されている「学びに向かう力・人間性等」の育成に向けて、数学の有用性が感じられるように、各章に入る前に、この単元が社会でどのように役立っているか、ここでは、現代の医療を支えるという例で示されています。

また、46ページのレッツトライの導入といったところでも、中学校の実際の生活でありそうな題材を扱うことで、数学を身近に感じられるような工夫がされています。

さらに、146ページをお願いいたします。ここでは『数学しごと人』ということで、数学が職業にどのように生きているのかが紹介されていて、身近なものから職業まで幅広く数学の有用性について扱われています。

また、73ページをお願いいたします。73ページの右側、右下にありますクエスチョンで既習事項を基に考え、74ページの一番下、一次関数のBがゼロのときに比例と考えることができるなど、いろいろな事項と関連をつけています。さらに、78ページびっくりマークのところではいろいろな視点

小宮委員長	<p>を考え、さらにそれが続きます。数学的な見方、考え方を踏まえたような教材配置になっていると考えます。</p> <p>続きまして、啓林館です。啓林館は1年の教科書をお願いします。</p> <p>学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して『説明しよう』『話し合おう』『まとめよう』というコーナーがあります。具体的なページで言いますと、71ページの真ん中の辺りに『説明しよう』、続きまして、77ページに『話し合おう』、234ページに『まとめよう』のコーナーがあつて、自分の考えを比較したりとか、考えを整理したりとか、他者の考えと自分の考えを比較しながら、学習が進められるように工夫がされています。また、デジタルコンテンツにおいて、補充問題や音声による解説動画が用意されていて、家庭など学校外での学習活動においても、考え方や答えを確認しながら、自学自習に取り組めるように工夫がされています。</p> <p>続きまして数研出版、1年生の教科書をよろしくをお願いします。</p> <p>数研出版は、各章のスタートに『TRY』というコーナーがあつて、教科書で言うと63ページです。『TRY』では、生徒同士や先生の対話する場面が掲載されていて、生徒のつまずきやすい箇所に気づかせる工夫がされています。また、複数の考え方が提示されていて、様々な視点で課題を捉えることで、生徒が問題を解く手がかりが多角的に説明してあります。また、全学年の教科書においてですが、2、3学年では、問いの文末の表現が「しなさい」と表現されていて、1年生の教科書では「しましょう」と表現がされています。小学校から中学校への発達段階に応じた表現としての配慮がなされていると考えました。</p> <p>次に、日本文教出版です。</p> <p>1年生の教科書、234ページをお願いいたします。こちらでは写真やイラストが非常に多く、身近な事柄は数学の問題として解いていく過程が掲載されています。学習指導要領に示された「数学的活動の楽しさ・よさ」が実感されるような工夫が、このような形で多くされております。</p> <p>また、11ページをお開きください。『次の章を学ぶ前に』というコーナーがそれぞれの単元の前に設けられております。また、『確かめ』の58ページの右上にあります『クエスチョン』などで既習事項を確かめ、学び直しができるような内容が多くあり、小中の連携を重視した構成になっているかと思っております。</p> <p>以上で数学科の調査報告を終了いたします。</p> <p>それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
-------	---

坂野委員	<p>他教科でもそうですけれども、総合資料をまとめるのに、ここに載せるのは2項目ではないですか。だから、これだけ調べた中で2つ取り出して特長とって載せていると思うのですけれども、今までも想定とか表記の部分であまりここに載ってこなかったですね。内容とか構成とか学習指導要領の関連とか、そこで持ってきて、多分想定とかのほうでも、特長はあっても、ちょっとそこまで載せられないというのが今まで結構そんな感じだったので、数研であえて、この2、3年が「しなさい」、1年生が「しましう」、これが特長というところを持ってきた。逆に、これを持ってきたということは、ほかのところの特長的な内容とかの部分ではなかったのかなと捉えてしまったものなので、もしそういう意味で何かあれば教えてください。</p>
調査員	<p>すみません、そうしましたら、分量、想定のところに関しましては、基本的に多くの出版社のところ、ユニバーサルデザインのところ、単語で改行するであったり、色だけではなく、形でも見分けがつくようにといったところは多くありました。その中で数研出版は、小中の先ほどもあった発達段階に関する特長があり、ほかにはあまり見られないと判断し、載せさせていただきました。</p>
坂野委員	<p>やはりあえてこれは入れたほうが良いと判断したわけですね。</p>
調査員	<p>はい。</p>
坂野委員	<p>なるほど。</p>
小宮委員長	<p>またご意見のところであれば、この点についてお願いします。 ほかにご質問はいかがでしょうか。ご質問としてはよろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、ご意見、感想に移りたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
梶山副委員長	<p>数学と実生活というか、社会と結びつけるのは、私は国語なので、全く難しいなといつも思いながら見ていたのですけれども、どの教科書もそういう工夫がなされているのはいいなと思いました。要は、子どもは何で数学をやるのか、何でこんなことやらなければいけないのかと思いながらやっているところはたくさんあると思うのです。他教科もそうだけれども、そういう意味では、どの教科書も結構工夫がされていいなと思ったのと、</p>

<p>大部委員</p>	<p>あと、クラスに数人、非常にできる子たちがいるではないですか。そういう子に対してのケアは、どうしても公立の学校だと難しいけれども、それも意識してちょっと難しい、難解な問題を取り入れていて、そこら辺も今に合っているのかなと思って見ていました。感想です。</p> <p>1点だけ述べさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。お疲れさまでした。</p> <p>啓林館の丸2つ目が、デジタルコンテンツのところなのですが、家庭などの学校外での学習活動をいつも考え、気にしながらとあるのですが、これは啓林館のみの特長ですか。</p>
<p>調査員</p>	<p>二次元コードのところに関しましては、もちろん、ほかの教科書でも多く掲載をされております。そういった形で、つくりがそれぞれの出版社で違うところがありまして、シミュレーション動画が多くあるところであったり、啓林館のように補充問題があったりするところもありました。ただ、啓林館だけではなく、ほか3者程度でも、やはり補充問題みたいな形で掲載をされていますので、そういった意味ではほかの出版社のところでも、家庭学習に利用できるかと思います。</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>では、私、司会ではあるのですが、感想ということで、確かにどの教科書も、日常の活用場面ということで意識はされていると思うのですが、何かまだほかの教科に比べると旧態依然としているというか、例えば箱ひげ図などというものも、国のほうでは毎年、全国学力・学習状況調査に問題としては出てくるのだけれども、あちこちで、なぜそれが今本当に有意なのか、必要なのかというのが分からないという声も聞こえてきて、そういうものがすごく、こういう部分で箱ひげ図はこれから先すごく活用されるものなのだよというようにできているかという、まだそこまでも行っていなかったり、そういう意味では私、数学の教員なのでどうしてもちょっと厳し目に見えてしまうのかもしれないですけれども、もう一息、どこの発行者がということではないのですけれども、もう少し実用的な部分ともっともっと密接にリンクされたものになるといいのかなと少し感じました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>和田委員</p>	<p>感想になります。調査、ご苦労さまでした。</p> <p>この総合資料を読ませていただいて、学習の取り組み方とか、学習の一連の流れとか、教材配置とかという視点で選ばれています。やはり授業をや</p>

小宮委員長	<p>る立場で教科書を見られて、そういう思いがこの総合資料に詰まっているなという感想を持ちました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかの協議に入りたいと思います。43ページ、44ページの総合資料について、加除修正等のご意見はありますでしょうか。</p>
坂野委員	<p>先ほどに関連して、小中の接続の部分で配慮をなされているということであるならば、趣意書を見ますと、趣意書、数学3番の195ページから数研なんですけれども、197ページの4番のところの算数、数学のつながりが見えると書いてあって、ここの表記もそうなのですけれども、やはり内容のほうで、この会社はすごく意識してやっているということだと思いのです。であるならば、総合の前に、こちらですね。それぞれの分析の報告書の50ページで言うと、内容と構成の2つ目のところで算数、数学のつながりとか、あと趣意書を見ますと、高校へのつながりも意識しているというところがあるので、そういう内容面を主にここで書けたらいいのではないかと私は思っています。</p>
藤原委員	<p>私も、実はちょっと違和感を感じていて、ほかの教科書は全部3年生まで「です、ます」調ですね。ということは、数研は2年、3年になって言葉を変えるというのは、絶対私も高校のほうを意識していると思うのです。そこを取り違えた意見書を書いてしまうと、数研の趣旨とちょっと異なるような気がするのですね。数研は、高校では結構トップクラスの教科書になってくるので、多分その趣意書のほうが正しいから、その取り方だけはちょっと確認したほうがいいのではないかなという懸念が逆にあります。</p>
小宮委員長	<p>やはり中学校の教員としては、小から中というところをどうしても意識しがちというところに、そこがこういう表現になった可能性はあるということですね。</p>
藤原委員	<p>言い切りの表現は数研さんだけで、ほかは全部「です、ます」ですよ。だから、逆に言えば、高度になるに向かって言葉を切ったわけで、最初のしますに焦点を数研は当てていないような気がするということなのです。</p>

	<p>だから、ちょっとそこには違和感を感じていたのですけれども、どうかなというところですね。ほかのところは全部みましょう表現で3年間いっていますよね。ちょっと確認しました、今。</p>
小宮委員長	<p>そうすると、この特長が特長ではないという言い方ですね。小から中への発達段階の表現という後半の部分が、実際にはちょっと違うことになってくるというのは間違いないですね。</p>
藤原委員	<p>だから、そことずれているのはちょっとまずいのではないかなと。</p>
小宮委員長	<p>趣意書の中に、確かにこのままの表現が書いてある、小中の連携というところに、小学校1年生はみましょうという表現を用いて小から中の学習が円滑になるようにしていますと書いてあるのだけれども、それはあくまでもこの教科書が言っていることで、比較したときに、本当にそれが特長かという、特長でもなかったということですかね。今、文章の表現というよりも、数研の2つ目の丸について、これを特長として挙げていいのかという疑義が生じているという状況かなと思います。</p> <p>例えば、新たにここでまた、高校とのつながりのところをこの場で取り上げるかどうかというのはちょっと大きな話になってしまいますので、それで言ったときに50ページの数研、例えば今の表現を変えていくという方法もあろうかと思いますが、50ページ、ほかにもありますので、その中で他の発行者と比べて特長であるというものがあれば、差し替えるという考え方もあるかと思います。</p> <p>質問になってしまうかもしれませんが、調査員の方として、この丸で言うと下から2番目以外で、ここに差し替えるべき特長というものはありますか。</p>
調査員	<p>そうしたら、内容と構成の2つ目のところ、ほかの文章と重なってしまうところもあると思うのですが、例えば1年の教科書の61ページのところに、既習内容を掲載することで関連を意識させる工夫がなされているという部分もあるので、そこに差し替えさせていただいてもいいのかなと思います。</p>
小宮委員長	<p>今、調査員のほうからは、もう一つ特長を挙げるとすれば、上から4つ目かなという意見がありました。こちらの協議として、この数研の2つ目の丸を今言った部分と差し替えるという形が、今までの話を総合するといいいのかとも思いますが、数研の2つ目を変える方法として、ほかのご意見はありますか。</p>

<p>小宮委員長</p>	<p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>それでは、ほかの変える方法、ご意見がなければ、今の50ページの上から4つ目の丸、内容と構成の2つ目の丸、この文章、この部分を数研の2つ目として差し替えるという案に賛成という方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(賛成者挙手)</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>挙手全員と認めます。よって、44ページ、数研の2つ目は、これを全て削除し、新たに50ページの上から4つ目の丸をそのまま差し込むという形に決定したいと思います。</p> <p>ほかに加除修正等、ご意見ありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>そうしましたら、今の1点について修正をした上で、その他の部分については、この総合資料を基に採択資料を作成して教育委員会で報告をしたいと思います。</p> <p>それでは、調査員の方は本当に長い期間、ありがとうございました。お疲れさまでした。</p> <p>(休 憩)</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>それでは、午後の部を始めたいと思います。</p> <p>理科の調査員をお呼びください。</p> <p>それでは、理科の教科書の調査、大変お疲れさまでした。早速ですが、調査結果の報告をお願いします。</p>
<p>調査員</p>	<p>調査報告書55ページになります。ちなみに、総合資料のほうは53ページとなっております。お手元に資料がありましたら、お開きください。</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>では、どうぞ。</p>
<p>調査員</p>	<p>では、上から順番に行かせていただきます。</p> <p>東書から説明します。2年生の教科書の247ページをご覧ください。基本操作として実験器具の使い方がかなり丁寧に示されています。ほかの教科</p>

書と比べて本当に基本的なところから示されているというのが特長なのかと思っています。

続けて、同じく2年生の174ページをご覧ください。理科では、算数、数学の知識を使って計算をさせる場面が多数あるのですが、中学生の中には小学校の割り算ですとか、小数ですとか、そういうところでつまづいている生徒も多く、実際に計算させると、理科の指導ではなくて算数の指導をする場面に結構時間を取られたりして、ほかの教科書と見比べて東書は、ここをかなり掘り下げて扱ってくれているというのが大きな特長かと思っています。計算方法だったり、比の使い方というのは、ほかの教科書の巻末の資料とかに載っていたりするのですが、ここまで戻って教科書に掲載しているのは東書の特長なのかと思っています。

続けて、二次元コードについてですが、二次元コードを読み込むとデジタルコンテンツが見られるというのはほかと一緒にですが、例えば3年生の星の動きなどは、頭の中で実際にイメージできない子もいて、それを二次元コードを使って、デジタルコンテンツを使うと、実際に手で動かしながら、それが投影されたりとかというシミュレーションができるのがほかと大きな違いなのかと思っています。すごく活用しやすく、子どもたちも実際にはイメージが持てるいい素材だと思っています。東書は以上です。

続けて大日本です。理科の教科書で唯一B5判になっておりまして、これだけちょっと小さいサイズになっています。意図としては、恐らく机のスペースを確保するためなのかなと思います。今、クロームブックを使ったり、教科書を使ったりして、かなり子どもたちはいろいろなものを机に出すので、そういうところに配慮して小さいサイズになっているのかと考えています。

続いて内容についてです。これも同じく2年生ですが、60ページをご覧ください。「化学変化と物質の質量」という章ですが、61ページから問題を見つけよう、62ページに行くと計画を立てよう、63ページの下に結果から考えようというふうに、いわゆる探究的な学習の過程がこうやって示されているというのが特長なのかと思っています。どの教科書にも同じような構成はあるのですが、大日本の場合は、計画を立てようみたいなスタンプみたいのがどこにも押されているというのが特長です。

また、例えば2年生の17ページをご覧ください。『Science Press』というコラムが全学年を通して幾つか載せてあるのですが、日常生活に関連づいたものをコラムとして紹介していたり、同じく2年生の49ページ、『Professional』というところですね。理科で学習した内容が仕事としてどう活かされているかというのが載っていたり、コラムがほかと比べて少し

多いのかと思っています。

続けて、同じく2年生の74ページをご覧ください。どの教科書も、まとめということで単元の最後に、こういうものがあつたりするのですが、ほかと比べてすごく簡潔に書いてあって、キーワードが左側に寄せてあって見やすいところが特長なのかと思っています。試験前に簡単に確認するとかというところには最適なのかと思っています。

あと、二次元コードについてですが、これも大日本の特長で、目次のページをご覧くださいと、表紙をめくってすぐのところ、2ページです。この教科書がほかと違うところは、目次にしか二次元コードがなくて、それはなぜなのかと思ったときに、この二次元コードを読み取ると、1年から3年まで全て閲覧できることになっているというので、探す手間はないのかと思っています。実際に入ってみると、1年から3年まで全ての実験が動画で説明されていて、例えば長欠生徒や不登校の生徒も、この教科書とタブレット端末さえあれば、全て3年間自学自習できるというつくりになっているのかと思っています。大日本は以上です。

続けて、学図をお願いいたします。

これも2年生ですけれども、7ページをご覧ください。学図は4つの単元から成り立っています。各単元の一番最初のページは『Can-Do-List』というものがあって、これから何を学ぶか、どんなものを身につけるかというのが一覧表になっているというのが学図の特長です。ほかにはなくて、生徒にとっては、これから何をやっていくか、このページを見れば振り返れるということがよさなのかと思っています。

また、巻末資料にあるのですけれども、239ページ、2年生です。補充資料ということで、ここからかなりの分量が補充資料として載せてあります。理科ではよく、いわゆる資料集みたいなものを購入させたりするのですけれども、学図の場合は、資料集に匹敵するまでは言わないのですけれども、それに近いぐらい、たくさんの資料が載っているのが特長です。

あと、ページはどこのページでも構わないのですけれども、右上もしくは左上に二次元コードが配置されています。先ほどの大日本とは違って、こちらはほぼ全てのページに二次元コードが配置されています。これを読み取ると、そこに関連したものが出てくるというつくりになっています。学図の一番の長所というか、恐らくすごく労力をかけて作ったんだろうなというところが、二次元コードが読み取れる『ミライ教科書』というものが、これは外国語に変換できるというところが大きな売りで、6か国語対応になっています。これは無料で使えるので、本校は国際級があつたりして、実際に今も日本語で苦勞している生徒がいるので、そういう子たちにとっては学習の大きな手助けになるのかと思っています。また、読むのが苦手だったりする生徒たち、あと漢字がまだちゃんと身につけていない生

徒たちのためにも、ルビが振られるような設定ができたりとか、あと分かち書きができるようになっていたりとか、かなりそういう子に対しての配慮がある教科書だと思っています。ほかの教科書は、デジタル教科書を申し込めば、それに近い機能が使えたりするのですがけれども、こちらはそういうのを申し込まなくて無料で使えるというのが大きなポイントになっています。学図は以上です。

次は教出です。2年生の教科書を見ながらお話しさせていただきます。まず、8ページをご覧ください。8ページのところで、章の最初に『これまでの学習』というところで、今までの勉強のおさらいをするところと『学習前の私』というところで、章の勉強をする前に自分が今どんな考えを持っているのかというのを表現してみるという内容があります。29ページを見ていただくと『学習後の私』ということで、勉強した結果、自分が説明できるようになって、自分が身につけていったというのが実感できるようなつくりになっているかと思います。

続いて65ページです。探究の流れが、65ページの左側に『疑問を見つける』、『課題を決める』、『仮説を立てる』、『計画を立てる』ということで、マークで流れになって示されています。その後も実験するだったり、結論を示すということで、統一されたマークで探究の流れが載っているので、見通しを持って活動できるかと思います。さらに探究については、教科書の2ページ目、2枚めくったところに探究の学び方ということで、こういうふうに開ける折り込みのページがあるのですがけれども、これを開いておけば、教科書のどのページを開いていても、自分が探究のどの部分をやっているのかが分かるようなつくりになっています。

それから、35ページには『ハローサイエンス』ということで、身近な生活とのつながりだったり、77ページでは『広がる科学の世界』ということで、高校の内容など学習内容を深く理解できるように、身近なものだったり、この先の勉強のことだったりにつなげる工夫がされています。

それから、68ページに『私のレポート』ということでレポートの例が載せてあります。一番最後には『疑問』という項目があるのですがけれども、実験をして、そこから分かったというので終わりではなくて、次にこんなことを調べてみたいと、新たな疑問を持ちながら探究していくことの大切さが分かるかと思っています。

二次元コードについては、それぞれの全てのページではないのですがけれども、ページの下のところ、左下にいつも固定されているので探しやすいかと思います。教育出版については以上です。

最後に、啓林館の教科書についてお話しします。

啓林館、2年生、144ページ、145ページです。実験については、目的、方法、それから考察ということで一本のラインがページの左側にあるので

	<p>すけれども、探究的な流れが分かりやすいようにまとめてあります。</p> <p>146ページを見ていただくと実験1からということで、この実験で分かったことがまとめの文章として丁寧に書いてあるので、読んで理解できるかと思います。</p> <p>それから、159ページ、章末のところには振り返ろうということで、その章で勉強した知識や技能の定着が図れるかと思います。</p> <p>さらに、200ページ、201ページには学習のまとめということで、単元のまとめのページがあります。基本事項が整理されているところと、あと左上に二次元コードがあるのですけれども、繰り返し学習ができるようなつくりになっています。</p> <p>それから、実験については例えば36ページに『探Q実験』というものがあるのですがすけれども、ほかの実験よりちょっとレベルアップして、仮説を立てたりとか計画も自分たちで立てたりとかというようなレベルアップした実験ができるようなつくりになっています。『探Q実験』については、教科書の一番後ろに『探Qシート』というものがついているのですがすけれども、これを使って実験を進めていけるようになっています。</p> <p>3ページです。3ページには『学ぶ前にトライ!』ということで、これから勉強する内容に関連した問題があって、これから勉強することが何かということ、学んだ後にもう1回この問題を見直すことで、自分が学習した成果が実感できるかと思います。</p> <p>続いて17ページです。『深めるラボ』ということでコラムがあるのですけれども、いろいろな種類のコラムが教科書に載っていて、部活のことだったり、料理のことだったり、仕事のことだったり、防災のことだったり、いろいろなコラムがあるので、身近な生活や実社会と関連したことについても学べるかと思います。</p> <p>続いて、289ページには『サイエンス資料』ということで、算数、数学の内容についてもまとめてありますので、計算問題のときには、算数、数学の内容についても振り返りはしやすいかと思います。</p> <p>最後に、34ページのところで、家庭科と関連して五大栄養素というところの左上に載っているのですがすけれども、ほかの教科との関連もいろいろなところに書いてあるので、教科横断的な学びにつながるかと考えています。以上で説明を終わります。</p> <p>小宮委員長</p> <p>ご報告ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの報告について、ご質問があればお願いいたします。</p> <p>坂野委員</p> <p>本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>前半、調査員のお話いただいたところは、この教科書がほかにない特</p>
--	---

調査員	<p>長を持っているというのは、とても分かりやすく、ああ、なるほどと思いつながりながら聞いていました。一番最後の啓林館ですけれども、総合資料に書かれている内容とはちょっと違うことをご説明されたので、この総合資料に書かれている部分でのお話をもう少し詳しく伺えたらと思います。</p> <p>『つながる学び』については、先ほどご覧いただいている教科書の4ページのところに『つながる学び』ということで、その単元の最初のところで、今までに勉強したことが振り返られるようになっています。ここには二次元コードもあって、教科書に書いてあること以外にも、今まで勉強したことが二次元コードを読み込むと出てきたりとか、問題が出てきたりして、今までのおさらいをしながら、これからの勉強が始められるかなというところなんです。</p> <p>4ページが2つあったので、多分黒丸の中の白抜きで4ページではなく、もうちょっと進んだところの4ページだと思います。すみません。</p> <p>あとは文字の大きさのところ、1年生の文字の大きさが6年生と中2、中3の間の大きさになっているというのを啓林館の特長として載せさせていただきました。</p>
坂野委員	<p>ありがとうございました。今のでよく分かりました。</p> <p>だとすると、文字の大きさというよりも、その前に、先ほど一番最初に説明していただいた部分のほうが、もしかしたらこの教科書の特長としてもっと伝えるべきことなのではないかという印象は受けたのですが、いかがでしょうか。</p>
調査員	<p>そうかもしれません。</p>
小宮委員長	<p>また後で協議のポイントになるかと思います。</p>
和田委員	<p>ありがとうございます。ご苦労さまでした。</p> <p>東京書籍の先ほどの説明の中で、総合資料でいくと2つ目の丸ですけれども、二次元コードが掲載というところで質問なのですが、文中に「作図や計算の練習問題など」とあるのですが、これのデジタルコンテンツもあるのですか。</p>
調査員	<p>それも入っています。</p>
和田委員	<p>作図や計算の練習問題のデジタルコンテンツもある……。計算練習ができるみたいな感じなのですかね。</p>

調査員	東書に限らずですけれども、C B Tに対応しているものがどの教科書もかなり多くて、ここの強みと言えるかというところちょっと難しい部分もあるので、練習問題とかはたくさん入っていました。
和田委員	ありがとうございます。
調査員	一応補足として説明させていただくと、来年の全国学力状況調査が理科はC B Tになっているので、それに対応するといううたい文句がどの教科書もたくさんありました。
小宮委員長	ほかにありますでしょうか。 (「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	それでは、ご意見、ご感想がありましたらお願いします。
大部委員	お疲れさまでした。ありがとうございました。 先ほどの啓林館のところですが、ご説明いただいて非常に分かりやすかったですけれども、私の感覚的なところなのですが、この総合資料を2つ見ると、発達段階というか、どちらも小中高というか、発達のつながりを説明している内容かなというところがありまして、そうすると、特長というか、特筆すべきところが似通ってしまう印象は少しあるかと私の感覚としてはありました。例えば、この内容の構成の一番下の「他教科と関連する学習内容」というところは、ほかのところにはあまり出てこないところなのかというところがあって、こちらもいいのかなと感じたところではあります。以上です。ありがとうございます。
小宮委員長	またちょっと協議の観点に、この後、のせたいと思います。 ほかにご意見ありますでしょうか。よろしいですか。 (「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	そうしましたら、この総合資料を基に採択資料を作成するかという協議に入りたいと思います。 53ページの総合資料ですね。この中で加除修正ということで協議をしていますが、まず今お二人の委員から出た一番下、啓林館、お一人は、2つ目のこの部分よりほかがいいのではないかと、お二人目の委員さんは、2つ似たようなものになっているので、どちらかをもう少し特徴のあるも

調査員	<p>のに変えたほうがいいのかという意見ですが、ここを修正したほうがいいのかということでもよろしいですか。</p> <p>そうしましたときに調査員のほうで、先ほど例えば教科横断的等と委員からも意見がありましたけれども、啓林館で59ページで本当にこの教科書のいい部分での特長というふうに推せる部分を1つ2つ出していただくとしたら、どれになるかということは今言えますでしょうか。</p> <p>一番上の丸の1つ目で、真ん中ら辺で『探Q実験』ではということを書かせていただいたのですが、基本的な実験に加えて、実験方法とかも自分たちで考えて実施する『探Q実験』というのと、一番後ろに『探Qシート』がくっついているというのが啓林館のほかにはない特長かと思うので、このことを入れられるといいかと思います。</p>
小宮委員長	<p>なるほど。抜くとしたら、1つ目の丸の後半というようなイメージでしょうかね。</p> <p>ほかはいかがですか、調査員の方。</p> <p>先ほど教科横断的を家庭科等のところでおっしゃっていたのは、59ページで言うと、内容と構成の一番下、内容と構成の4つめ、上から6つ目になりますかね。それもこの教科書の特長なのでしょうかね。</p>
調査員	<p>今ざっと見るとあまりほかは載っていないのです。ただ、ほかの教科書も同じように触れているかというと触れていなかったもので、調査のときには、ここだけしか載っていないから、載せたほうがいいのかという話で。</p>
小宮委員長	<p>ほかも横断的と必ず載っているとは思いますが、ほかよりもやはり多い印象があるという感じでしょうか。</p>
調査員	<p>どの教科というのが分かりやすく書いてあるのかと思います。</p>
小宮委員長	<p>そうしましたら、委員の皆さん、これをどのように考えられるかということなのですが、具体的な修正案はありますか。</p>
坂野委員	<p>最初の説明の中では、今、2択というふうに考えてよろしいでしょうか。『探Q実験』のほうか、他教科との関連か。</p>
小宮委員長	<p>両方変えるという手も考えると、3択かとは思いますが。</p>

坂野委員	なるほど。この2つが一番最初に説明の中であった内容ですね。総合資料の中のこの2つの話は一番最初の説明にはなかったのですよ。と考えると、むしろ最初に説明して下さった、要するに、今変えようとしているこの2つのほうが、よりこの教科書の特長なのではないかと考えました。
小宮委員長	今の修正案で言うと、総合資料の啓林館2つとも、これを抜いて、今お話しいただいた59ページの2か所に変えるというご意見です。 ほかに修正のご意見はありますか。
大部委員	私は今の坂野委員がおっしゃったような形がいいかと感じます。
小宮委員長	この点についてほかにご意見はありますか。よろしいですか。
小宮委員長	(「なし」と呼ぶ者あり) そうすると、今、修正案として出たものは、2つとも入れ替えて、先ほどの探究的な部分、それから教科横断的な部分に差し替えるということについてですが、よろしいですか。
小宮委員長	(「異議なし」と呼ぶ者あり) それでは、ご意見がよければ、これまでどおり決を採りたいと思います。それでは、2つとも入れ替えるという今のご意見に賛成の方、挙手をお願いいたします。
小宮委員長	(賛成者挙手) 挙手全員となりますので、それがこちらの委員会の趣旨ですので、こちらのほうでその2つ、2か所に変えさせていただきたいと思います。 ほかに修正案、加除修正等、ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。
小宮委員長	(「なし」と呼ぶ者あり) それでは、今の修正、啓林館はそのようにし、それ以外の部分はこの総合資料を基に採択資料を作成して教育委員会で報告をしたいと思います。 調査員のお二方、本当に長い時間大変だったと思います。ありがとうございました。 それでは次に、音楽に進みたいと思います。調査員をお願いいたします。

調査員	<p>早速ですが、調査結果の報告をお願いします。</p> <p>まず、音楽（一般）の教科書になります。調査報告書の63ページをご覧ください。</p> <p>まず、教育出版のほうから報告させていただきます。教育出版の書名は「音楽のおくりもの」となっております。まず、様々な法律との関連というふうなところでは、1つ目として「教育基本法の第2条に関連して、我が国の音楽文化の理解を基盤にして、様々な音楽の多様性を理解・尊重する態度が養われるように適切に配慮されている。」というところで、西洋音楽のところもちろんそうなのですが、その中で歌舞伎や文楽等々の日本の伝統音楽について触れられている箇所もかなり載せられています。</p> <p>学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等の育成」に関連して、思考を促すヒントがキャラクターの吹き出しによって示され、思考の手順が分かる工夫がされているというところは、例としてお伝えすると、音楽の教科書の1年生、中学音楽「音楽のおくりもの1」の62ページ、63ページをご覧ください。教科書全体を通しての一例としてではありますが、ここに音楽を形づくっている要素についてを「きらきら星変奏曲」を用いてというところになっています。</p> <p>1ついいなと思ったところは、どうしてもバッハやベートーベンなどなどの音楽家が鑑賞等で登場する中で、モーツァルトの出番というのがあまり鑑賞では実際のところ、中学校音楽では使われることはなく、そのところをあえてここでモーツァルトを使用して、また、中学生がよく知っている「きらきら星変奏曲」を用いています。その右ページ、63ページに変奏1、8、12というふうな特徴的なバリエーションのところをここで載せているのですけれども、最初の変奏1は、テーマが演奏されても、バリエーション1のところですが、テーマからの変化の部分、変奏8は今までデュアで演奏されていたところがモール、単調になって演奏されている。変奏12は、実際に今まで2拍子だったものが3拍子になるなど、それぞれの拍子感、あとは調性感、和声感などなどの変化を捉えていく上で、ここに吹き出しを用いることによって、このように話をしていくと、音楽の変化をグループワークなどで話し合いやすいとか、こういう思考で考えていくと、その変化に気づきやすいというような工夫がされていますというところが一つの例です。</p> <p>3つ目の丸に移らせていただきます。「『主体的・対話的で深い学び』の実現のために、ワークシートを活用して、友達との意見交流をすることで」とありますが、こちらに関しては、同じ1年生の教科書の38ページ、39ページをご覧ください。38ページ、39ページのところは、今度は創作の内容になっております。日本語の抑揚を生かしてというところで、左側に例示</p>
-----	---

されているものがあり、右側の39ページには、実際にここに書き込み等をして、創作を行っていくワークシートが作られているので、作ったものをお互いに見せ合う、聞き合う、もしくは一つのワークシートをみんなで考え合うみたいな学びができるような工夫がなされています。

内容と構成に移らせていただきます。二次元コードからアクセスする『まなびリンク』というところで、半鐘であったり楽器の紹介であったり、そこで音色を感じたりであったりというものにつながるができるので、タブレット端末等を使って動画で捉えることができます。

「学習題材の系統表である『学習MAP』では」とありますが、最初のほうに戻っていただいて、8ページ、9ページのところになります。8ページ、9ページのところでは、歌唱・鑑賞、そして創作という3分野にわたって、その教科書の中で扱っている題材を扱うに当たって、このようなところに気をつけて注意して演奏していくと、それが積み重なって様々な音楽表現が豊かになっていくというのを一覧できるようにここに掲載されています。

他教科との関連を重視し、英語歌詞で歌唱できるようにというところでは、英語歌詞のところは、同じ1年生の教科書の14ページをご覧ください。14ページ、サウンド・オブ・ミュージックの「ドレミの歌」が英語歌詞とも載っており、ここで教科横断的というふうなところになっております。

また、今度は2・3の下の教科書をお開きください。2・3の下の教科書の34ページ、35ページの「ヴルタヴァ」ですね。チェコの代表的なスメタナという作曲家の作曲した「ヴルタヴァ」ではありますが、この「ヴルタヴァ」の作られた背景、国民学派と呼ばれる作曲家たちが一体どういうふうな時代背景の中で作っているのかというのを指導しやすい内容になっております。また、国民学派であるということも、その国の特性だったりとか、その国の特徴的な音楽を用いたところを西洋音楽の手法にどのようにつなげていったのかということも、学習しやすい内容になっております。

4つ目の「題材ごとに活動のポイントが示されており」というところは、先ほどの「ヴルタヴァ」をそのまま見ていただければと思うんですが、34ページの曲名「ヴルタヴァ」の後に青丸で2つ、曲想と全体の構成との関わりを考えながら鑑賞しようと、音楽の背景を理解してと、その曲を鑑賞あるいは歌唱の分野でもそうですが、こういったところに注目をしながら学習に取り組むことによって、より深まるという工夫がなされております。

分量等のところですが、色覚等の特性を踏まえた判読性や視認性の高い配色やレイアウトになっており、表記・表現方法、図の使用など細部にわたり、そういったところが配慮されていますというところを教育出版の教科書の調査報告書の説明とさせていただきます。

続きまして、教育芸術社の教科書に移らせていただきます。

こちらは「中学生の音楽」となっておりますが、まず法律関係で言うと、「諸民族の音楽やポピュラー音楽について掲載されているなど、多様な音楽文化についての理解を深め、将来にわたる音楽を愛好する心情を育てられるよう工夫されている。」とありますが、こちらは2・3の上、下をご覧ください。まず、2・3の上の70ページ、71ページを開いていただくと、ここに「世界の諸民族の音楽」ということで載っております。恐らくフラメンコなどは中学生でもなじみがあるというか、聞いたことがあるとは思いますが、ブルガリアの女性合唱、グリオやジンジュなどなど、ここから話を広げれば、恐らくケチャについてなど、そういった諸民族の音楽、舞台芸術についての学習まで取り組めるような工夫がされております。

あとは2・3の下の教科書の60ページをご覧ください。58ページ以降ポピュラー音楽になっております。ポピュラー音楽とは何かというところが58、59ページのところに記載されており、60ページ、61ページで、いわゆるブラックミュージックと呼ばれるような音楽を中心に、現在のロックやR&Bなど、現在の若者であったりとか、一般的に聞かれるような音楽へつながるような変遷が載っています。

62、63ページは、さらに今度は日本のポピュラー音楽ということで、現代であると、アニメソングやアイドルなどがありますが、演歌がブームになっていた時代もあるということも含め、様々な視点での音楽を、生涯を通しての音楽という視点で学習することができるように工夫されています。

3つ目の丸です。「学習指導要領に示された『音楽の多様性の理解』の実現に向けて」とありますが、こちらは1つが2・3の下の教科書の90ページをご覧ください。90ページから95ページまでが西洋音楽史と日本の音楽、舞台芸術等々の関連について書かれております。グレゴリオ聖歌に始まり、中世の時代から近現代にわたるまでの様々な音楽家、あるいは様々な音楽の特徴、もちろん教科書の中で主に扱われるのはバロックとロマン派、あるいは国民楽派、印象主義などというところにはなりますが、それ以前、それ以降のところの紹介もここにされているので、その多様な時代といったところで学習しやすい工夫がされています。

また、多様な国といったところでは、その国に関しては先ほどのポピュラー音楽を含め、あるいはただいまの音楽史を含め、ドイツ、オーストリアだけではなくて、イギリス、ヘンデルであったりとか、先ほどのチェコのスメタナであったりとか、様々な国のほうにまで触れる機会ができるように工夫されております。

内容と構成に行かせていただきますが、『主体的・対話的な学び』の手立てが示されていて、『学びのコンパス』とあります。すみません、今度

は1年生の教科書をご覧ください。1年生の教科書46ページ、47ページ、48ページ、49ページと有名な「魔王」が掲載されております。このところで1つ、『学びのコンパス』というのが49ページにあるのですが、例として「魔王」を使わせていただくと、ここでは、曲想の変化を捉えようというところで「魔王」に出てくる語り手、魔王、そして父、子という4人、まさにピアノ伴奏にまで目を向ければ、そこに馬の駆ける音、風の音などなど、そういったところへの工夫が、僅かではあるのですが、実際にその演奏を聞く、あるいは教員が演奏するなどして、その特徴を捉えることができるようになっております。

それをグループワーク等々では、これは一体どういうふうにしてシューベルトが工夫しているのだろうか、あるいは例えばCDも選んでしまえば、例えばそこに写真が48ページにあります、ディースカウの演奏などを聞けば割と一目瞭然で、声色を変えて役柄まで変えているというシューベルトの意図した音の高さ、音程の変化だけではなくて、ディースカウが見事なまでに表現しているような声色での表現などなど、そういったところを鑑賞の中で気づけるような工夫がここでなされています。

「鑑賞教材において標題音楽・絶対音楽・情景とも結びつき」とありますが、これはもう1、2、3年生を通しての内容にはなりますが、1年生のところで標題音楽、2年生で絶対音楽、1年生で情景との結びつきをどのように考えていくかというところで、2年生、3年生で楽曲の構成についてというところで、ソナタ形式であったりとか、あるいはフーガといった音楽を作っていくための必要な形式について学ぶことができるようになっているので、3年間を通して教科書を使用して、3年間通して学んでいくことで音楽のつくりについてもしっかりと学ぶことができるようになっていきます。

また、歴史的背景や文化的背景というところでは、先ほどの「ヴルタヴァ」に代表されるように、こちらに「ヴルタヴァ」が載っているのですが、そのような社会的事象、歴史的背景にも目を向けることで教科横断的に学べるよう工夫されています。

「日本の伝統芸能の学習」とありますが、1年生では雅楽について記されております。1年生の教科書の53ページをご覧ください。また、2・3上の54ページ、55ページをご覧ください。このところで日本伝統音楽や雅楽であったり、2・3上に行くとき歌舞伎、歌舞伎の扱っているものも「勧進帳」という武蔵坊弁慶も活躍をする内容的にも面白い演目が使われておりますが、ここで日本文化の伝統芸能も、できた背景であったりとか詳細な説明がここに載せられています。

また、ポピュラー音楽については、先ほどお話をしたとおりで、2・3下の教科書にポピュラー音楽の世界的、日本的な変遷が掲載されております。

	<p>す。</p> <p>「デジタルコンテンツの活用により」というところではありますが、二次元コードを読み取ると、ここから楽器の音色、この楽器はこういう音色ですというのが動画で出てきたりするので、どうしてもオーケストラだと、スコアを見ても、あるいは演奏を聞いても、この楽器がというところの音色になかなか注目しづらいとは思いますが、こちらを利用することによって、あっ、この楽器はこういう音色で演奏されるのかということを理解した上で鑑賞することによって、オーケストレーションの部分であったりとか、楽曲の中での流れがつかみやすくなっております。</p> <p>分量等のところですが、見やすい書体の使用や色覚特性の配慮によってユニバーサルデザインの工夫がなされております。</p> <p>続いて、器楽合奏の方に移らせていただきます。</p>
小宮委員長	<p>一度ここで協議ですね。お疲れさまでした。</p> <p>今は63、64ページについて丁寧にご説明いただいたのですが、実際にその中で特にとというのが61ページにあるということでしょうか。</p>
調査員	<p>はい。</p>
小宮委員長	<p>それでは、ただいまの報告についてご質問ありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>そうでしたら、ご意見、感想がありましたらお願いします。</p>
和田委員	<p>ご苦労さまでした。丁寧な説明ありがとうございました。</p> <p>2者の教科書を見させていただいて、とてもそれぞれ特長があって大変勉強になりました。</p> <p>私の感想としては、教育芸術社のほうがページ数も、我が国の伝統というか、そのようなものが手厚く書かれているような気がしています。合っていますかね。それが特長だなと感じています。大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
小宮委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>今の和田委員の感想が総合資料の2つ目というところになりますでしょうかね。</p>

	(「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	特になければ、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかの協議に入りたいと思います。61ページの2者、そして2項目ずつが特に特長であると報告されていますが、この2つについて加除修正等、ご意見ございますでしょうか。
坂野委員	さっき言えばよかったのですけれども、とても丁寧な説明で、具体的に非常に分かりやすかったのですけれども、どの項目も同じ熱量で語られたので、どれが特にというのがちょっと分かりづらかったのですね。ですので、ここに書いてあるので、きっとこれが本当に丁寧に説明された中の最も特長的なところだということによろしいのですね。
調査員	はい。
坂野委員	分かりました。次の器楽では、もうちょっと分かるように熱量を分配していただけるとありがたいです。
調査員	すみません。
小宮委員長	それでは、音楽（一般）については、この61ページの総合資料を基に、採択資料作成委員会の報告書として記載してよろしいでしょうか。
	(「異議なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	それでは、そのようにいたします。 続いて器楽合奏のほうに行きますが、そういう形で言うと、65ページ、同じページ数でお持ちですかね。65ページの総合資料を基にご説明いただけると、より特徴が明確に対比されるかと思しますので、そのような形でもできますか。
調査員	大丈夫です。
小宮委員長	よろしく願いいたします。
調査員	長々と失礼いたしました。

<p>小宮委員長</p> <p>調査員</p>	<p>いいえ、ありがとうございます。</p> <p>では、教育出版から行かせていただきます。</p> <p>2つピックアップさせていただいたうちの1つ目が、教育出版のほう、音楽教科書の一般の教科書の鑑賞教材と関連している楽曲が多数掲載されており、より深い学びになるように構成されているとありますが、実際に器楽の教科書を見ていただけたらと思います。</p> <p>64ページ以降になります。64ページ以降に、『レッツプレー』、『レッツトライ』、『名曲旋律集』と並んでいるのですけれども、こちらで有名な曲、あるいは教科書に載っているというところで、例えば79ページをご覧くださいと、ここにヴィヴァルディの「四季」より「春」が掲載されておりますが、これは実際に1年生の鑑賞で扱われる鑑賞の教材になっています。それを実際に自分たちで演奏してみようというところで、このように演奏して、さらに身近なものとして感じられるように掲載されております。</p> <p>2つ目の「ページ上部に題材や活動のポイントが配置され」のところがありますが、こちらは様々なところにあるのですけれども、例えば10ページ、11ページを見ていただくと、そこもリコーダー、10ページの一番上、クリーム色のところですよ。リコーダーの音色と双方との関わりを理解したり、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現しようというところで、一つ一つ、アルトリコーダーは中学生に入って初めて扱うもので、調整といいますか、管の調整自体がF管のような形にはなっているので、ソプラノリコーダーからの運指の頭の中のチェンジというものが必要になってくるので、そちらをまずタンギングのところから始めて、ゼロ番、1番も同じで、演奏できるものからスタートして、それぞれこのまま進んでいくと、様々な音が演奏できる、様々な曲が演奏できるというふうに、ポイント、ポイントをここに書きながら、学習できるように配置をされております。</p> <p>続いて、教育芸術社に行かせていただきます。「中学生の器楽」になります。</p> <p>こちらは1つ目、「アルトリコーダーの学習では、運指やアンサルブンの面で段階的・発展的に」とありますが、1つが12ページ、13ページなどのところで、タンギングから始まり、姿勢、構え方が写真で記されており、それ以降、14ページ以降は、例えば順次進行で進んでいく音楽であったりとか、あるいはサウンド跳躍を用いた音楽であったりとかが記載されております。また、17ページの『学びのコンパス』のところでは、アーティキュレーションを工夫しようというところで、より発展的に学習ができるように工夫がされております。</p> <p>2つ目の「バンドスコアの掲載や」とありますが、バンドスコアのほう</p>
-------------------------	--

	<p>は68ページ、69ページに載っていますが、恐らく中学生がよく聞くであろうJポップであったりとかロックであったりとかは、こういうふうな楽譜で成り立っているんだよというものが実際に楽譜で視認できていたり、あるいは「音楽の教科書で扱われている鑑賞教材を」というのは、先ほどの教育出版と同じでしたが、72ページに同じくヴィヴァルディの「春」がこちらに掲載をされており、実際に自分たちで演奏することができるとなっております。</p> <p>また、アンサンブルと書かせていただきましたが、アンサンブルについては決して1人で演奏するだけではなくて、アルトリコーダー2本で演奏ができたり、そこに何か低音楽器で、ピアノで演奏するなどなど、工夫をしながら演奏して、器楽の中のリコーダーだけではなく、リコーダーのアンサンブル、そこに別の楽器を組み込むなどの工夫もされているところがあります。領域横断的に学ぶことができるよう、どちらの教科書もではありますが、そのような工夫がされております。総合資料に関しては以上になります。</p>
小宮委員長	<p>ほかに67、68については事前にもう資料をいただいているので、お目通しいただいているかと思っておりますので、65ページから68ページまでについてご質問はありますでしょうか。ご意見、感想も含めてありますか。</p>
坂野委員	<p>基本的なことなのですけれども、一般の教科書と器楽の教科書は、やはり会社は同じもので選ぶのでしょうか。</p>
調査員	<p>自分自身は同じでしか見たことがないところではあるのですが、同じで選んだほうが、それぞれの編集者の意図であったり、あるいは楽曲の連結性であったりというところを考えると、同じ出版社の教科書を使用したほうが授業しやすいということはあると思います。</p>
坂野委員	<p>感想で、採択自体が別になっているのが、ちょっと違和感があって、でも、そうなのだと感じました。ありがとうございます。</p>
小宮委員長	<p>完全にリンクしている部分があるということですね。</p>
調査員	<p>そうですね。こことここはこうつながっているとなっているので。</p>
小宮委員長	<p>分かりました。 ほかはいかがでしょうか。よろしいですか。</p>

小宮委員長	<p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>それでは、採択資料として取り上げるかどうかという協議に入ります。今、器楽のほうでは、65ページのそれぞれ2項目、2つの特長が挙げられておりますけれども、これについての加除修正のご意見はありますか。</p>
小宮委員長	<p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>なければ、この2つをそれぞれ採択資料作成委員会の報告として、資料を作成してまいりたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
小宮委員長	<p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>それでは、本当に調査報告のほう、ありがとうございました。大変だったと思います。丁寧にありがとうございました。</p>
調査員	<p>ありがとうございました。</p>
小宮委員長	<p>お疲れさまでした。</p> <p>それでは、美術に入りたいと思います。では、美術の調査員をお願いいたします。</p> <p>早速ですが、報告書69ページから、総合資料を中心に説明いただければと思います。よろしく願います。</p>
調査員	<p>よろしく願います。</p> <p>開隆堂から行きたいと思います。開隆堂の教科書、1学年のものをご覧ください。</p> <p>まず最初に、『扉のページ』について説明させていただきます。教科書8ページに「自分の思いを表そう」という表題があります。こちらが扉になりますが、こちらのほうで、自分の個々の題材では、全体的に自分らしく自分を表現する個の発想、個と向き合うページなのですと分かりやすく紹介がされています。</p> <p>次に、34ページをご覧ください。34ページには『つくることでつながる』とございます。これはデザイン、先ほどは個だったのですが、次はつくり出すという活動、自分ではなくて見る人、使う人の立場になって考える活動、生活を豊かにするため、楽しくなるために、対人、人に対してどのように考えていくかという学びの時間なのだよという題材になっていると分かりやすい説明されております。</p>

次に54ページをご覧ください。54ページは使える知識、広がる技術があって、ここからは実際には制作の中で活用できる知識とか技能がこのページの資料としてありますよと分かりやすく扉で紹介されているというものになります。このように、題材ページにタイトルをつけることで活動がより明確になるように表されているものです。

次に、「原寸大の作品」というところを紹介させていただきます。教科書の52ページ、53ページをお開きください。あわせて紹介させていただきます。教科書にはよく小さい写真で作品の紹介というのがありますが、タイトルにトンボの精とあるのですけれども、ぱっと小さい写真だとトンボにしか見えないのですが、実際に実物大になることによってトンボの頭の部分に顔がある、妖精のような身になっているというのが見えることで、タイトルはそういうことなのだと分かりやすく、このように部分的に拡大されております。このように見開きで分かりやすくというので、前に戻りまして、教科書28、29ページをお開きください。このように見開きの状態で、広く作品が紹介されております。この作品はぱっと見、このままだとタイルなのかな、天井なのかなと一瞬思わせるのですが、この拡大、原寸大サイズでよく見ると、升目描きといって実は全て線で升目を描いて、その中を塗りつぶすという技法で描かれているのだよというふうに、実際の技法が確認できるように大きく描かれているというのが特長かと思えます。

次に、コラムの紹介をさせていただきます。コラムでは、SDGsとともに紹介ということで、教科書の25ページをご覧ください。25ページの下にSDGsのマーク、廃材に命を吹き込むということで、ごみとなるものでも、それをうまく活用すれば作品となるのですよという形で、美術の活動がSDGsにどのように関わっていくかという取組の紹介となっております。

あと、2・3年生のほうで紹介させていただきますと、2・3年生のほうでは、112ページ、113ページに大きくSDGsの紹介がされていて、これでは、より具体的にSDGsの活動が美術の活動が生かされていますと具体的に紹介されているページとなっております。以上、開隆堂です。

次に、光村です。光村は他教科とのつながりがとても意識されておりまして、例えば教科書の1学年の31ページでは音楽、56ページでは外国語、英語、60ページでは家庭科というふうに、他教科の学びがどう美術と関わるか、美術の学びが他教科とどのように関わっていくかが具体的に紹介されていて分かりやすくなっております。

次に、『鑑賞』と『表現』というところの紹介をさせていただきます。教科書の流れ的には、色別に最初に『鑑賞』、実際に自分たちと同じ中学生の作品を紹介して、作者のコメントをつけることによって、自分たちは今か

らこういう作品を作っていくのだなというイメージをつけられるようになっていきます。その流れから、この表現では実際にどうやって表現していくかという具体的な参考例があり、最終的にまたもう1回鑑賞に戻って、今度は自分たちが実際に作ったものという流れになっております。

その次にSDGs、こちらもあるのですが、こちらは目標が表記されていて、教科書、2年生・3年生のほうをご覧ください。2・3年生の目標が上段に表記され、教科書の66ページ、左下にSDGsに関わっている番号が表記されております。美術の活動が、どのような関わりがあるか分かりやすく表記されており、このページ以外に、70ページの左下のSDGsの何番のものが美術と関わっていると分かりやすく表記がされております。

次に日文です。日文は1年生、6ページをご覧ください。6ページには『ようこそ美術の学びへ』という小学生の学びが、中学校に入って1年、2年、3年とどのように学んでいくのか、最初のオリエンテーションのところで美術というものの学びの段階的なもの、最初、1年生ではまず美術と出会い、その1年生での出会いを次に学び、実感、深まりというところで、実感したところで3年生では、今度は探究というふうになって学んでいくのだよと、3年間の学びが比較的分かるように、見通しが持てるように工夫されております。

次に、題材のアイコンが各ページにあるのですが、22ページをご覧ください。この上の学びの目標というところなのですが、こちらのアイコンがイラストになっていて、あと、それぞれが色別になっています。水色の部分の造形的視点のものは、同じように造形的な視点を見るというところの囲みの色とリンクしています。また、2番目の『表現 発想・構想』のところの表現のヒントも同じオレンジ色で囲うというふうに、学びの目標が、どういったことの視点を持ってヒントになっているかと分かりやすく色分けして、情報が整理できるように工夫されております。

『屏風、美の仕掛け』というところなのですが、26ページ、29ページをご覧ください。こちらは見開きで屏風になっているのですが、これは見本なので折れないのですが、実際に屏風をここの線のところで折っていくことによって、屏風というものがどういうものなのか、縮小版ではあるのですが、実際に今の時代には見られない道具を見る、こういうものなんだというふうに鑑賞する工夫が、実際に今までは平面でしか見られなかったものが立体的に、実際のものに近い状態で鑑賞できるような状態で工夫がされております。以上で報告とさせていただきます。

小宮委員長

今、発行者3つについて、3つずつ総合資料で説明をしていただきました。ご質問等がありましたらお願いします。

大部委員	<p>ご丁寧な説明、ありがとうございます。</p> <p>1つ、日文の一番下の『屏風、美の仕掛け』というところが面白いなと思ったのですが、これ以外に平面での鑑賞は難しいのを鑑賞しやすくしている工夫みたいなものはほかに。</p>
調査員	<p>ないです。ほかの教科書もなく、唯一この教科書のところで、今までの教科書ではなくて、初めて取り入れられたものなので、初めて見たものなので、あっ、すごいねという話になりました。</p>
大部委員	<p>では、これだけということですね。</p>
調査員	<p>そうですね。平面で実際に立体的に見るというのは、これだけです。</p>
小宮委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、ご意見、ご感想がありましたらお願いします。</p>
■■委員	<p>感想なのですが、技能教科、音楽でしたり美術とか技能教科って、小学校と違って中学校に入ると、いかに生徒がその教科に興味を持つかだと思っていて、今、もう本当に20年、30年前、自分が中学生だったときのことを思い浮かべると、美術の教科書の見方ってこんなふうに見ていなかったなというのがすごくあって、興味がすごく湧いて、今回の説明がすごく分かりやすくこれにまとめられていたので、聞き入ってしまいました。</p>
調査員	<p>ありがとうございます。</p>
小宮委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>そうしましたら、この69ページの総合資料を基に採択資料として取り上げていくかということを協議します。</p> <p>今、3者それぞれ3つずつ、特に特長と思われるところを挙げていただきましたけれども、これについて加筆または削除すべき点等がありますでしょうか。</p>

坂野委員	資料が別冊でついているのは光村だけですか。
調査員	そうですね。こういうのはこれが初めてです。
坂野委員	これについては特に何かありますか。
調査員	これについてもし言うとならば、例えば5ページです。すみません。この5ページのほうなんですけれども、今までは資料集では載っていなかった絵の具を使うための準備の資料が載っていて、この部分がいいなと調査のときにお話がありました。それ以外の部分は、実際に授業で活用している資料、今現在使っている資料集の抜粋になっていて、まとめられていいんですけれども、やはりこれだけだとちょっと物足りない。ただ、すごく薄くて軽量なので、生徒たちの持ち運びの面を考えると、これはいいのではないかと思います。
坂野委員	技能的な部分で参考にできるのが、すぐ分かるような形になっているなというのは感じました。感想です。
小宮委員長	ほかに加除修正のご意見はありますか。よろしいですか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	そうしましたら、69ページの総合資料を基に採択資料を作成し、教育委員会で報告をしまいたいと思います。
	それでは、本当に長時間にわたってたくさん調査していただきまして、ありがとうございました。また、報告のほうもお忙しい中、ありがとうございました。お疲れさまでした。
調査員	ありがとうございました。
小宮委員長	では、保健体育をお呼びください。
	それでは、調査のほう大変お疲れさまでした。ありがとうございました。早速ですが、報告のほうをお願いします。
調査員	よろしく申し上げます。保健体育です。調査報告書75ページになります。最初に、東京書籍の「新しい保健体育」からお願いいたします。
	どの教科書も、教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連したところから、どういうところがいいかというのを最初に

調べました。東京書籍で、関連して『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』という、必ず単元で決められたステップがあって、学習の流れに沿って配置されているところで、主体的・対話的で深い学びを通して知識、教養を身につけられるように配慮されていると感じました。

また、学習課題の共有、あとは実感を伴った理解などを目的とした動画コンテンツがかなり豊富につけられていました。実際に動画のほうはお見せできないんですけれども、8ページにそのコンテンツの内容みたいなものが出ています。8ページをお願いします。Dマークコンテンツということで二次元コードが各単元に掲載されていて、それを開いてもらうと、動画が載っているもの、思考ツールやワークシートが載っているものもありました。あとは関連した資料、図鑑等が引用されているものもあるということでした。東京書籍は以上になります。

大日本図書をお願いいたします。こちらは小単元ごとに『学習のねらい』から『活用して深めよう』という課題解決学習となるように工夫されています。自分から知識を身につけることができるように工夫されています。これも単元を見てもらえるといいかなと思うんですけれども、例えば、16ページをお願いいたします。健康の成り立ちという題名の横に、ここの単元で学ぶ『学習のねらい』が示されています。こちらで学習の最後に『活用して深めよう』ということで、学習した内容で終わらずに、そこからさらに自分としてどういうふうに深められるかというところが追記されています。

続いて、各単元で『ミニ知識』、また『トピックス』などが掲載されています。『ミニ知識』はほとんどの単元に設置されていて、ちょっと小さくて見つけづらいところはあるんですけれども、今、見開いていただいた16ページ、17ページで言うと、どちらも一番下に『ミニ知識』というところで追加の補助的な知識みたいなものが載せられています。また、左側に『トピックス』という吹き出しマークがついていて、今の16ページで言うと、ヘルスプロモーションなんていうものが載せられています。こういったことで、個に応じて学習を深めることができるように配慮されていると感じております。大日本図書、以上になります。

続けて行きます。では、大修館をお願いします。

こちらは各章の初めに『章とびら』が設置されています。16ページ、17ページをお願いいたします。これは単元ではなく、各章の初めになります。『1年生の保健① 健康な生活と疾病の予防』というところの初めで、学習を始める前に、こういう学習をしていくということが分かるような、普段の生活に関連づけられたような内容が載せられています。

また、各単元の中で『課題をつかむ』、能力の育成・定着を図る『学習のまとめ』というのを設けています。具体的には、これもどの単元にも設置

されていますが、32ページ、33ページをお願いいたします。一番最初、題名の下『課題をつかむ』というところで、質問形式で自分自身の生活や自分の体の特徴とかについての質問が設けられています。ここで言うと、自分の身長が伸びたのはいつ頃だったかなというところで、これは最終的に学習の内容の中で、個人差があって、遅い子が気にする必要はないんだよというような内容にもつながっています。最初にそういったところで今日学習する内容の課題について触れるような仕組みになっています。最後の右下のところに『学習のまとめ』ということで、学習した内容を最終的に自分の生活で改善することがないかというように実生活につながるような形になっています。

続いて、こちら『動画コンテンツ』『Web 保体情報館』『Web ワークシート』『保体クイズにトライ!』というところで、これは各単元に二次元コードがつけられています。実際にこれはタブレット端末で内容を見てみたんですが、学習した内容に関する4問程度の簡単な問題が設置されていて、正解、不正解が出るのと、不正解だった場合、もう一度教科書のこの部分を確認してみようという形になっていました。大修館書店は、以上です。

最後、学研をお願いいたします。

こちらは保健体育の学びからウェルビーイング、生活の向上のために、学びを活用する問いかけや、章の冒頭で学習内容に関連した人物、事柄の紹介がされていました。まず、27ページをお願いいたします。保健編第1章の始まり、27ページの下の人、物、事というところで、この単元では、健康な生活と病気の予防という内容を学習するに当たって、日本人の健康に対する意識調査の結果などが示されています。そういった課題を紹介して、学習につなげていくような仕組みになっています。

続けて、生徒の興味・関心に応じて深い学びに結びつけられるように、各章の最後に『探究しようよ』、また、各学年の最後のところに『学習の終わりに』というものを設定しています。38ページをお願いいたします。保健編第1章の終わりになります。『探究しようよ』というところで、ここまで学習した内容を振り返って、さらに、その中にはなかった少し突っ込んだ細かい内容、関連する内容について、もう少し調べてみる発展的な内容が載せられています。学年末のところ、70ページをお願いいたします。1年生の『学習の終わりに』ということで、ここまでの保健の内容、体育理論の内容を振り返って、全体で自分の印象に残ったことや、これからにつなげていくようなことを書く、まとめるページが設定されています。学研、以上になります。

小宮委員長

4つ終わりましたね。お疲れさまでした。ありがとうございました。

江下委員	<p>それでは、ただいまの報告について、ご質問がありましたらお願いします。ご質問がなければ、ご意見、感想等でも結構ですので、ありましたらお願いします。</p> <p>質問になってしまうのかもしれないんですけども、各発行者の取りまとめのところで、最後の学研さんのところだけ、「1時間見開き2ページを基本とし」というところがあるんですが、多分ほかの教科書も一応そういった形でつくられたりしているものなんですかというのと、この保健体育に限ったことではないんですけども、分量のところというのは、私は、教科書の量というよりも、授業を進める上で、これだけの情報があって、果たして皆さん大丈夫なのかなとは思っていたんですね。私が中学校で使っていたときよりもすごい情報量が入っていて、なおかつ、それまで解説を先生方が説明していったりするときに、こんなに量があったら、普通、今50分でしたっけ、それを1時間、1限で大丈夫なんでしょうかというのは特に思っています、保健体育とかという割と柔軟に動くようなところはあるかもしれませんが、そういった授業の進むスピードとか、量というんですか、そういったものと合っているものになっているのでしょうかね。</p>
調査員	<p>私個人の意見にはなってしまうんですけども、小単元、見開き2ページで1つをやっていくとなったときに、1つの50分間の授業で、実はこの内容の部分だけをやっていくと、保健の内容は、言ってしまうと、すごく当たり前な内容が多くて、ふだんの生活で、もうそんなのは子どもたちも分かっているような内容が多くて、実は内容だけやっていると50分もたなかつたりするので、こういうのがあると、正直、保健体育科としては、ちょっと脇道にそれるではないですけども、追加した内容があったら、50分間の使い方としてはすごくありがたいのかなというところはあります。</p> <p>あと、最近の教科書は、動画コンテンツ、実はどの教科書にも二次元コードがあるんですが、教科書会社によって動画が多いところと、関連リンクみたいな形でほかのホームページに誘導されるところと、いろいろあるんですね。ただ、どのパターンも、今、1人1台端末で子どもたちがタブレットを使っていると、動画とか写真とかサイトとかで視覚的に見られると、言葉で聞くだけよりはかなり入りやすいのかな、興味はすごく引かれるかなという感じがしています。お答えになっているかどうか分からない。</p>
江下委員	すみません、ちょっと質問がずれているかもしれない。
大部委員	お疲れさまでした。ありがとうございました。保健体育のというより、

小宮委員長	<p>先ほど藤原委員からご指摘があったところに近いんですけども、大修館の2つ目、「ICTを活用した授業が行えるように」という表現が、もしかして、先ほどのを捉えていくと、ともすると教師が主語になってしまうような印象を持たれるかなというのはあって、これは教科との兼ね合いかなと思うんですけども、例えば「学習」とかにしてもいいのかなという感想を持ちました。</p> <p>この後の協議の一つになるかなと思います。ほかにありますか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、採択資料の内容の検討に入りたいと思います。先ほど、75ページの総合資料の中で、大修館、3つ目の箱の下から2行目、ほかは子どもが主語で「学習」というような表現なのが、ここだけ「ICTを活用した授業」となっているので、先ほど修正案ということで、「ICTを活用した学習が行えるように」のほうがいいのではないかということがありましたけれども、それについて反対のご意見等がありますか。</p> <p>それでは、すみません、ここまで決を採っているので採らせていただきます。「授業」を「学習」に変更することに対して、賛成の方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(賛成者挙手)</p>
小宮委員長	<p>挙手全員と認めます。それでは、ここは「学習」という形で修正をさせていただきますたいと思います。</p> <p>ほかに修正案等ありますでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>よろしければ、今の1点のみを修正点とし、残りは総合資料を基に採択資料作成委員会の報告書として教育委員会のほうに上げたいと思います。</p> <p>それでは、市の代表お一人で本当に大変だったと思います。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>(休憩)</p>
小宮委員長	<p>技術家庭の技術分野から再開したいと思います。</p> <p>それでは、もう既に調査員の方に入っていていただいて、大変ご苦労さまで</p>

調査員	<p>した。ありがとうございました。どうぞおかけください。</p> <p>早速ですが、調査結果の報告をお願いします。報告については、81ページの総合資料を中心をお願いいたします。</p> <p>それでは、よろしく申し上げます。</p> <p>まず、東京書籍です。</p> <p>調査報告書の1つ目、教育基本法第2条2項に示されている中の『技術の匠』というのが、実際教科書で言うと、21ページのところです。この教科書は全体にわたって『技術の匠』というのが紹介されていて、ものづくりにおける責任感や倫理観とか、工夫・創造することの大切さなどを伝えていただいているコーナーで、ここはこの教科書の中で特長的な部分となっています。</p> <p>また、2つ目の教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」に関連して、グループでの話し合い活動や男女が協力して作業する姿というのが、最初の目次になるんですけども、3ページの写真の中で、男子生徒、女性生徒、いろいろな生徒がいろいろな話し合いをするというところがあって、こういうイメージで子どもたちが持っていけるのではないかと、作業に取り組めるのではないかなと思っています。</p> <p>内容と構成の2つ目の白丸の『TECH Lab』というところで、問題解決のために身につける必要がある基礎技能について分かりやすくまとめていて、製作の見通しができます。それが実際のページで言うと、教科書の40ページです。技術は4つの分野に分かれている中で、今ご紹介したのは、初めの材料と加工の技術という分野ですけども、ほかの生物育成の技術、エネルギー変換の技術、情報の技術、それぞれの分野でそれぞれこのような形のものが設けられているので、子どもたちからしたらとても扱いやすいのではないかなと考えています。</p> <p>続けて、教育図書です。</p> <p>調査報告書の上から2つ目の白丸で、教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」ということで、実際の教科書では16ページ、『技術を見つけよう』というところで、今ご紹介したのは、材料と加工の技術を見つかる場所の見つけるというところなんです。『見つける』、『学ぶ』、『振り返る』という形のサイクルで科として授業を單元ごとに進めていくに当たって、きっかけ、身近な日常生活の中で、どういうふうにして課題を見つけていくのかというところが、ここでそれぞれ毎回示されているところです。男女の数を同じぐらいにして男女平等に配慮されているのではないかなと考えています。</p> <p>それから、内容と構成の1つ目の白丸で、設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒が自ら問題解決できる工夫がされ、『やってみよう』という</p>
-----	--

コーナーがあります。実際には、教科書で言うと、33ページになります。1章が材料と加工の技術なんですけれども、実際技術の工夫を調べてレポートにまとめるという具体的な内容が、デジタルコンテンツを使って、こういうふうには書けばいいというモデルが示されていて、どうまとめたらいいか分からない生徒からしても、少し意欲が湧くとか、問題解決に自分で、ああ、こんなふうにやってみようというふうにレポートでまとめる見本になるのではないかな、取り組みやすくなっているのではないかなと配慮されていると考えています。

それから、教育図書の別冊で『スキルアシスト』というのがあるんですけども、これには、実習中に実際問題解決していく中で、具体的に道具の使い方について示されている部分があります。別紙になっているので、例えば実習で作業をするときに、教科書を持っていくというよりも、こちらの別冊に全てまとまっているので、これを見ながら分からなくなったら見ていけるというところもあります。あと、デジタルコンテンツの中で動画等もあり、いい例と失敗例が載っていて、とても分かりやすい内容になっています。

続いて、開隆堂です。

開隆堂の調査報告書の上から2つ目、教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重し」というところに関して、教科書の26ページをお願いします。日本の伝統的な文化、先人の知恵、技能が日本の文化を支えて発展してきた今の技術に結びついているということ子どもたちに示しているところが、授業に入りやすい内容ではないかなと思われま。

それから、3つ目の白丸の学習指導要領に示された「技術による問題解決」に関連して、『問題解決の手順』が幅広く紹介されています。これも全ての技術の分野で紹介されていて、例えば60ページになります。『製作の準備』ということで学習課題があり、製作前の準備と確認、材料取り、切断と部品の検査、部品加工と部品の検査、組立て、仕上げという形で、一連の流れが1ページに全部まとめて示されているという形で、子どもたちからも見やすいのではないかなと思います。

内容と構成の2つ目の白丸です。問題解決的な学習の導入で生徒に問題意識を持たせる『CHECK』というところがあります。それが実際どれかと言うと、教科書の28、29ページになります。教科書を見開きで開いてみたときに、右下のほうにチェック項目があり、自らどういうふうな内容で、どういうふうにまとめたかというのを必ず『CHECK』で振り返りをして、毎時間このような形で問題意識を持たせて、次の課題に向かうという形ができていないかなと思います。

3者、以上で報告を終わります。お願いします。

小宮委員長	ただいまの3者、それぞれ3項目ずつ、特に特長の部分を挙げていただきましたが、何かご質問がありましたらお願いいたします。
和田委員	調査お疲れさまでした。1点ご質問させてください。教育図書にのみ別冊があるんですよね。
調査員	はい。
和田委員	各者の中では、別冊のところが内容と構成の2番目にあるんですが、総合資料のほうには順番を入れ替えて記載されているんですけども、これは、やはり『スキルアシスト』が教育図書の特長的な部分ということでしょうか。
調査員	はい。調査している中で、この『スキルアシスト』は別冊であるということが特長だと思います。大体ワークを用意したり、技術の教員が、ここは大事という内容で別紙でつくってあげたり、子どもたちに配付したりとかする形が多いのかなと思うんですけども、教育図書みたいに、このように別紙になっているのは特長であると思います。ほかの2者のほうでも、大事な基礎技能については実際載っています。例えば東京書籍だと、先ほどもちょっと触れたんですけども、40ページにある『TECH Lab』になります。開隆堂のほうは作業の流れを大事にしている教科書をつくられているのではないかなと分かって、その流れの中で、ところどころに大事な基礎技能を盛り込んでいるという形かなと思います。
和田委員	納得しました。ありがとうございます。
大部委員	お疲れさまでした。1点教えていただきたいんですけども、東書と教図ですけども、それぞれ教育基本法第2条3項の「男女の平等」の表記があるかなと思うんですが、イラストの分量がというところですけども、どちらもそんなに変わらないかなという印象があります。開隆堂は確かに写真もあまりないんですけども、イラストの分量は同じになっているかなという印象があるんですけども、あえてここを3者の中で特長的というご意見等をいただけるとありがたいです。
調査員	教科書を全部調査員全員で見えて、写真とか、先ほどもあった技術の確認だったり、実際社会で活躍されている方々のインタビューをしている項目を見たときに、東書は、男女がバランスよく実際活躍されている方々がたくさんいらっちゃって、これは分野によって、実際に東書だと21ペー

<p>小宮委員長</p>	<p>ジの『技術の匠』、先ほど触れたんですけども、ところどころでいろいろな『技術の匠』というコーナーがあって、職業に関しての見える化とか、そういうところを子どもたちに訴えるコーナーがあって、紹介されている部分があって、教育図書も『技ビト』というコーナーがあって、全部を見たときに、開隆堂はどちらかというと伝統文化を取りあげていて、どうしても男性の方が多んですけども、この2者、東書と教育図書は女性を結構取りあげていて、性別関係なく、誰もがいろいろな場所で産業だったり技術分野で活躍できるということを紹介してくれているので、この2者については、ここを特長であると考えました。</p> <p>司会ですけども、私も今の男女のイラストとか話合いの図が両方同じぐらい出ているのはもう当たり前の世界だなと思って、ちょっと違和感を同じように感じていたんですけども、そういう大人の技術系の職業に就いている人の紹介があえてということであれば納得をしましたところで。</p> <p>ほかはいかがですか。ご意見、ご感想も含めてお願いします。</p>
<p>楢山副委員長</p>	<p>今のと関連しているんだけど、それは教科の特性ですよ。昔、技術・家庭は男女別習の時代が長かったから、そういうふうに意識的にやっているんだと思うんだけど、ほかの教科だったら男女とかという感覚がもう大体ないじゃないですか。どっちかという多様性の部分で、だから、多分それは教科の歴史的な背景だなと思って見ていたんです。それだったら何となく分かるんだけど、この報告書に男女平等と書くのは、僕は何かもう古いなと正直感想としては思っていたんですけども、何かそこら辺の文章があるといいのかなと。あえて書く必要はないのかもしれないけれども。だから、そこら辺は教育委員に説明するときに小宮委員長が頑張ってもらえば。</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>それでは、今、採択資料のほうの協議にも半分入っているかなと思いますので、協議にそのまま入りたいと思いますけれども、81ページ、82ページの総合資料に対する加除修正のご意見ということで、私は、むしろ東書と教図のその部分を、ちょっと意味合いを変えて、職業の紹介とか、そっちらのほうに変えてしまったほうがいいのではないかなと今のご意見も聞いていて自分で感じたことも含めて思いました。例えば、去年、小学校の教科書なんかは男女が入っているのは当たり前で、国籍、それから車椅子の子とかが入っているのがもう当たり前の世界なので、この文章だけ見ると、それをすごく取りあげている学校現場がどうかと思われてしまうかなと思っていて、今ここで文章をどう直すということまで言うとなんなんです。</p>

	<p>が、「グループでの話合いやイラスト」というところを、先ほどの「技術系の職業のインタビュー等」という感じに修正する案もあるのかなと思いますが、その点についてはいかがですか。</p> <p>(「賛成です」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>皆さんも、その辺、うなずいていただいているので、この文章については事務局にお預けすることにして、イメージは、子どもたちのイラストとか話合いの子どもの写真というよりも、多分今、調査員が言われたのも職業の紹介という点ですよ。</p>
調査員	<p>そうですね。社会で活躍するということだと思います。</p>
小宮委員長	<p>そのような形で修正をしていくという点について決を採りたいと思います。そのような形に、事務局一任も含めて修正をしていくという点でいかがですか。賛成の方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(賛成者挙手)</p>
小宮委員長	<p>挙手全員と認めます。それでは、事務局一任という形で修正をさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、市の代表お一人で本当に大変だったと思います。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>それでは、技術・家庭の家庭分野のほうに入りたいと思います。早速ですが、調査結果の報告をお願いいたします。87ページの総合資料を基にご説明いただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
調査員	<p>87ページをご覧ください。まず、東京書籍の教科書から紹介させていただきます。</p> <p>こちらの教科書は非常に分かりやすいつくりになっていて、小学校で家庭科は学んでくる内容に結構差があって、この縫い方をこっちの小学校はやっているけれども、こっちはやっていないみたいなことが多いんですが、そういったところにも対応できるように、しっかりと小学校で習っていた内容を復習した後に、中学校での基礎・基本、応用というふうに入れるようになっています。教科書の127ページを見ていただくと、手縫いの基礎のところについて、玉結びや玉止めなどの本当に基本的なところから分かりやすく載っています。</p> <p>それから、2つ目に動画やシミュレーションなどの内容が多く工夫され</p>

ていると書いてあるんですけども、動画が中身を見たらすごく分かりやすいです。ほかの教科書だと、例えば縫い物だったら、縫い始めます、いきなり飛んで、縫い終わりましたとなってしまうのが、ここは縫っている過程のところを、ポイントポイントで大事なところを止めて文字で説明をしてくれたりするので、すごく分かりやすい動画だったり、あとはシミュレーションがたくさん入っていて、献立を自分だったらこういうふう工夫するとか、衣服だったらこういうふう工夫するというシミュレーションがあったり、自分の生活を振り返るチェックリストがあったり、子どもたちがそれぞれできるクイズがあったりと、二次元コードがすごく充実していました。

それから、3つ目が写真についてなんですけれども、教科書の45ページを見ていただくと、手ばかりといって、手のひらに乗せたときに、このぐらい野菜を食べるんだよというのが写真で分かりやすく説明されています。これがほかの教科書にはなかった特長で、実際に子どもが実生活で使えるような量り方というところで紹介させていただきました。ほかにも写真がとてもおいしそうに料理とかが載っているので、実際に作ってみたいという意欲が湧くような教科書になっているかなと思います。こちらが東京書籍の説明です。

続いて、教育図書のほうに入ります。教育図書のほうは、すごく詳しい充実した内容が載っているという状況です。例えば、伝統文化にすごく重きを置いているんですけども、一番最初のところ、口絵というページ、3ページから8ページ目までを使って、行事食についてすごく詳しく載せています。ほかの教科書も行事食については載せているんですけども、ここまで詳しく載せているのはこの教科書の特長かなと思います。ほかにも和菓子とか和紙とか、日本の伝統的なところをすごく大事にしているのかなというのが内容を調べていく上で分かりました。また、郷土料理についても詳しく載っていました。

それから、充実した資料というところで、89ページを見ていただくと、食品成分表といって、それぞれの食品にどのぐらいの栄養素が入っているかというのが載っているんですけども、ここにレバーが載っているのがすごく珍しくて、子どもがよく貧血になるから何を食べたらいいかなみたいな会話を授業の中でするので、レバーというのを出すんですけども、教科書にレバーが載っていないんです。レチノールが1万3000とレバーのところは書いてあるんですけども、レバーと比べると、ほかには全然足りないんだなみたいなのが分かります。実際に使ってみるときに、資料がすごく細かいのがとても便利だなと思います。

3つ目が、性別、人種、年齢、障がいなどの有無にかかわらず、協力・協働できるようにということなんですけれども、例えばスラックスを履い

	<p>た女子生徒の写真が載っていたり、複雑な家庭のパターンを家族の例として載せていたり、車椅子やペットがいるおうち、子どもがいるおうち、いろいろな家族でも、どんな工夫をして家族生活を送っていったらいいのかみたいな具体的な例が載っているので、こちらを紹介するときに紹介しやすいかなというところがいいところとして挙げられました。</p> <p>最後に、開隆堂の教科書になります。</p> <p>開隆堂の教科書は、防災教育にすごく力を入れているのが特長的です。災害については246ページから255ページのところで扱っているんですが、総合の授業かなというぐらい、すごく詳しく災害について載っていました。ここのところがほかの教科書にはない特長的なところですよ。</p> <p>2つ目が、日本の特徴を捉えるときに、世界各国と比較するような表とかグラフがたくさん載っていました。172ページから174ページのところを例に挙げさせてもらいますと、日本の食料自給率を紹介するときに、世界各国ではどうなっているのかということとか、日本の食品ロスを世界全体の食料の支援量と比べてみたりとかということと、日本が世界の中でどのぐらいの立ち位置にいるのかを説明してあげると、日本は結構豊かな生活をしているけれども、そのぜいたくな生活を続けていくだけでは駄目だよねというのが子どもに分かりやすいかなと思います。</p> <p>最後に、スキムミルクのことを載せさせていただきましたが、調理をすごく科学的に捉えることがこの教科書の特長で、例えばスキムミルク、栄養素の授業をするときに、無機質だから燃やすと灰になるよねということとか、豚のショウガ焼きを作るときに、ショウガを合わせるの、ショウガのタンパク質分解酵素によってお肉が軟らかくなるからだよということとか、科学的に捉えて料理をできるようにというふうに、ほかの教科書よりもちょっと詳しく載っているというのが特長でした。</p> <p>以上で報告をおしまいにします。</p>
小宮委員長	<p>分かりやすく簡潔にありがとうございました。それでは、ただいまの報告について、質問があればお受けします。意見や感想等も含めて、ありますでしょうか。</p>
和田委員	<p>とても分かりやすい説明でした。開隆堂のご説明の中で、災害や防災などということを大分強調されていましたが、ほかの教科書にも載っていないわけではないんですか。</p>
調査員	<p>載っています。家庭科で学習したい内容をコンパクトにまとめたようなところは載っているんですけど、防災教育について扱っているのがこの2者で、防災だけではなくて災害の震度の説明とか、災害のことについて</p>

和田委員	<p>て詳しく載っているのが開隆堂。ほかの教科書でも防災については学べる とは思いますが。</p> <p>ありがとうございます。</p>
小宮委員長	<p>ほかはいかがでしょうか。特によろしいですか。</p> <p>それでは、この報告書から採択資料として取り上げる部分について協議 いたします。87ページの総合資料が原案として調査員のほうから出して いただいた特長ということになりますけれども、この87ページについて、 加除修正等ありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>特にご意見がなければ、この87ページの総合資料を基に採択資料作成委 員会の報告書としてまとめていきたいと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、そのような形で教育委員会で報告していきたいと思えます。</p> <p>調査員の方、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>外国語に入りたいと思えます。調査員の方、よろしく願いいたします。 早速ですが、調査結果の報告をお願いいたします。</p>
調査員	<p>調査報告書95ページになります。それでは、順番にご説明いたします。</p>
小宮委員長	<p>これは上から丸全部ではなくて、特長的なところだけで結構です。願 いします。</p>
調査員	<p>東京書籍の「NEW HORIZON English Course」ですが、実際にEnglish Course 1を見ながらご説明させていただきたいと思えます。4ページの目 次をご覧ください。「NEW HORIZON」では、各ユニットで自分のことを 伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができるなど、技術的な観点で の目標、アイアム、アイライクなど、知識的な観点での目標をしっかりと 定め、ステージごとのまとめとして、それらを使って自分で考え表現する 『Stage Activity』が設置されています。54ページをご覧ください。こちら の『Stage Activity』では、絵や写真、動画などを使い、どのような生徒に も直感的に内容が分かるようにデザインされております。そして、同年代 の外国の方の自己紹介を動画で見ることによりイメージをつかみ、間接的</p>

ではありますが交流体験を行うことができ、その後実際にクラスメートとコミュニケーションを行うことで英語体験を重ねることができるようになっております。

国際交流について考えるに当たり、必要な文化的知識は『ダイバーシティメモ』という形で紹介されております。例えば、今のページの『Stage Activity』の1では、カナダの学生との交流が想定されておりますが、22ページをご覧ください。22ページの左下に『ダイバーシティメモ』があります。22ページでは、カナダに住む多様な民族の人々について説明しております。同じく32ページをご覧ください。32ページでは、自国日本が海外からどのように注目されているのかが紹介されております。これらの配慮により、日本にいながらも国際交流を非常に意識できるつくりになっております。

次に、開隆堂の「Sunshine English Course」をご説明いたします。「Sunshine English Course」のシートをご覧ください。

22ページをご覧ください。「Sunshine English Course」の大きな特長といたしまして、単元で扱う文法がどのような状況で使用されているのかを分かりやすく漫画形式で紹介されているところです。26ページをご覧ください。各単元の最後には『アクション』というコーナーが設けられており、その単元で習得した知識技能をゲーム形式や会話形式の中で自己表現活動ができるように工夫されております。扱う話題につきましても、51ページに始まる和食、もしくは61ページからはアメリカの文化について話が始まっており、71ページからのプログラムは、ケニアに住む男の子ジャクソンの通学路など、他国の文化や環境など多岐にわたり多くの写真で分かりやすく扱っております。

全学年を通して配当時間が100時間以内に設定されているので、生徒の実態に応じた指導ができるように配慮されているのも特長です。

8ページをご覧ください。8ページから20ページまで『Get Ready』があるのですが、こちらの『Get Ready』に見られるように、すごろくやアルファベットの読み方、英語の書き方などを丁寧に扱い、小学校とのスムーズな接続を図れるように工夫されております。

三省堂の「NEW CROWN」です。

「NEW CROWN English Series 1」の62ページをご覧ください。「NEW CROWN」では、フードコートでの店内放送や注文の仕方など、英語を使う必然性のある状況設定にとっても工夫がなされております。二次元コードで実際の英語の発音を確認したり、新出単語以外のところでも、エクスペリションという形で、その状況でよく使う表現を紹介しております。さらに、実際の状況をイメージできるように手助けできるような工夫がされております。

調査員	<p>ほかに、各単元の最後には『Goal Activity』のページが設けられています。そこでは具体的に自分の考えを表現できるように工夫されています。86ページをご覧ください。こちらの86ページが『Goal Activity』の一例なのですが、レッスン6の『Goal Activity』では、アメリカに住んでいる友達に学校紹介するなど、国際交流授業などでも実際に使われるような題材で、生徒にも話しやすい題材を選ぶことにより、主体的に考えて表現しやすいように工夫されています。</p> <p>37ページをご覧ください。ほかに、37ページに見られるように、あいみよんなど現在の中学生が興味を持つような有名人を取り上げられたり、91ページ、レッスン7にあるように、話題のスポーツを扱ったり、あと84ページに見られるように、食べ物の話題など、たくさんの写真を交えながら、生徒たちにとっても表現しやすいような話題を多く扱っていることが特長だと思います。私のほうからは以上です。</p> <p>続いて、教育出版、「ONE WORLD」です。「ONE WORLD English Course」の1番、1年生用の教科書を使ってお話しさせていただきます。</p> <p>「ONE WORLD」は、各単元の最後にありますけれども、まず21ページをご覧ください。21ページの上のところにゴール、内容理解、活動ということで、まず何をするのかというのを明確に生徒に伝えるような表記が大きくなされています。</p> <p>これに合わせて、29ページです。単元の終わりに、それぞれの内容理解に対する自分の達成度、活動に対する自分の達成度を記号のようなもので振り返るような形が盛り込まれているのが一つの特長として挙げられます。</p> <p>あわせて、この教科書については、ページが戻りますが、14ページです。14ページ、15ページのように、小学校からの音声活動のつながりを大事にしている部分や、さらには27ページ、単語のところの表記も、中学校での新出語句、小学校での発信語として設定されていた重要語句が分かりやすく生徒の視覚的に訴えられるような配慮もなされています。</p> <p>あわせて、それぞれの単元の学習目標に応じて、いろいろな活動がさらに発展的にできるように、55ページにありますような日記のライティング活動であったりとか、この教科書を通していろいろな教育活動に取り組めるように、単元に合わせて生徒に合わせた教育活動ができるように、いろいろな教材が盛り込まれているのがこの教科書の特長と言えると思います。</p> <p>それに合わせて、指導時間の目安も100時間を超えているということで、いろいろな取組を授業の中でできるような工夫がこの教科書ではなされているという調査を報告させていただきます。</p>
-----	--

続いて、光村、「Here We Go！」です。こちらも1年生の教科書1を使ってご説明させていただきます。

総合資料には、「生徒にとって身近な話題が設定されたり」という表記をさせていただきましたが、具体的には、教科書に出てくる登場人物の説明があるんですが、25ページをご覧ください。登場人物の紹介はどの教科書もあるんですけども、この教科書で特筆して挙げるのであれば、登場人物の性格を載せていたりする中で、それが本文の中にちゃんと反映された形で物語が展開していくというのは、この教科書の特長かなと思います。好きなもの、嫌いなもの、そういった性格まで盛り込まれて、3年間通していろいろな人間模様が見えるというのは、この教科書の特長ということで調査員の中でも話題となりました。

その登場人物のいろいろな時期に合わせた内容も盛り込まれていて、例えば40ページ、これは1年生にとっての割と早い単元になるんですけども、入ったばかり、4月、5月のところで、自分たちの実生活に合わせた部活動や委員会紹介なんかは本文の内容として入っているので、自分たちの実生活に英語を引き寄せて学ぶことができるかなと感じております。

あとは同じ教科書74ページの単元で言うと、Zoomなどのアプリ、動画のオンライン交流を具体的に想起させるような設定がなされているので、自分たちが今後、中学校から出た後も、こういうコンテンツを使いながら、いろいろな人と交流をしていくというのがイメージしやすいかなと思います。

2年生の「Here We Go! ENGLISH COURSE 2」でもお話しさせていただきますが、2年生のほうはもう少し社会的な内容も入ってきています。例えば、59ページから始まるユニットでは、防災に関するような内容として、自分たちで話し合い活動であったりとか、防災に関する英語の表記はこういうものがあるんだなという発見をして、いわゆる社会の中での英語の使われ方も学んでいけるような内容になっていると思います。

あとは、もう少し生徒の生活に近づけるというのであれば、ちょっと戻りますが、19ページのユニットから始まるバスケットボールトーナメントというのは、部活の中で一点を争うような攻防が本文の中で入っているので、部活動で頑張っている生徒はイメージをして、自分たちに近い内容を学習できるかなという内容となっています。

最後に、啓林館の「BLUE SKY」です。1年生の教科書でお話しさせていただきます。

まず、ページ数は11ページです。この教科書も、一番最初にユニットゴールということで、『Input』、自分たちが何を理解しなければいけないのか、その理解したものを『Output』として何をしなければいけないのかというのが、まず大きく明示されています。それに合わせて、18ページをご覧ください。

	<p>ださい。最初に明示されているユニットゴールと、ここでも『Check』という形で振り返りが掲載されています。同じ文言で、このゴールに対して自分はどうだったのかというのを明示しやすい記号でチェックするというこ とで、これは明示されたゴールとチェックの文言が一致したような形で使 われています。</p> <p>あとは、この教科書は扉のページとそれぞれのパートや教材の中で、ど の技能に焦点を当てて学んでいったらいいのかというのが比較的分かりや すくというか、明確に示されているというところも一つの特長です。今ご 覧いただいている11ページのユニット1のところであると、まずパート1、 2、3とありますが、ここでは、知識・技能を習得するという意味で目標 となる言語が載っていること、それをさらに練習していくというページに なっていて、次の18ページになると、その目標言語、学習目標に合わせた 4技能を満遍なく学んでいけるような形で、どの学年も構成されていると ころが特長かと思います。</p>
小宮委員長	<p>発行者6つについてご報告いただきました。ただいまの報告について、 委員のほうから質問がありましたらお願いします。</p>
大部委員	<p>これだけたくさん教科書、大変だったかなと思います。すみません、 勉強不足なんですけれども、ちょっと教えていただきたいのが、開隆堂と 教出、光村、それぞれ指導時数のところが載っているかなと思うんですが、 開隆堂は100時間以内、教出は100を超えて、光村は100程度というところ の、それぞれ指導時数がこのように設定されているよさ、悪いところは 言えないかもしれないですけれども、特長というか、先ほどもちょっとご 説明いただいていたんですけれども、教えていただけるとありがたいです。</p>
調査員	<p>それでは、開隆堂のほうからですが、先ほども申し上げたとおり、『Get Ready』のところなどで、小学校との連携を深めやすくするために、例えば 苦手な生徒が多いなと思ったらちょっと手厚く見てみたりだとか、教員の 観点で、授業に割く時間というのをある程度こちらで、もうちょっと手厚 く見たいところなどをコントロールしやすいのいいところだなと思って おります。</p>
調査員	<p>教育出版の「ONE WORLD」に関しては、1単元の構成の中で学習目標 が明示されて、学習目標を学ぶところと、さらに応用的に教科書の中で学 べるような教材が必ず盛り込まれています。それと、さらに応用的に、1 年生の教科書でお示しできればと思うんですが、86ページにティップス・ フォー・リスニングというのがあるんですけれども、こうやって4技能を</p>

	<p>どうやって具体的に学んでいったらいいか、どうやって力を伸ばしていったらいいのかというのが生徒にも分かりやすいような形で、1個こういうプラスアルファのような形の活動が各学年いろいろなところに盛り込まれているので、指導時間の目安を超えるような、100時間よりは多いという設定になっていますが、この教科書を扱って授業をするほうとしては、自分で何かプラスアルファを用意するというよりも、この教科書の中でいろいろな技能を学んでいけるというのがこの教科書の特長かなというふうには思います。</p>
<p>大部委員</p>	<p>扱わなくてもいいということですか。</p>
<p>調査員</p>	<p>それは多分、目の前の生徒にとって、リスニングの部分は今は軽くてもいいかなとか、リーディングの部分が弱ければ、そこについて、これを使って深めていこうということはやりやすいかなと感じています。</p>
<p>大部委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>お疲れさまでした。ありがとうございます。総合のほうではなくて、こちらのほうを見ますと、数値ですごく分かりやすい。今の時間だけでなく、扱う単語の数、語の数も随分教科書によって違うんだなということが分かりました。このことについては、特に担当として触れておくべきこととか、そういうことはありますか。例えば光村は、重要語句901のうち、1年生で600語というのはすごく多い気がするんですね。</p>
<p>調査員</p>	<p>今のところに関して言いますと、1年生で600語を学習というより、生徒の目に触れるということですよ。そこに触れさせておく中で、2年生、3年生で繰り返し出ていくことでの定着を促すといった目標はあるのかなと思っています。早い学年でいろいろ提示することが、より自分が発信できる単語を増やしていく。自分が理解するものも使えるものも増やしていく時間を長く持てるというのは、一ついいところなのかなと思います。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>なるほど。例えば東書ですと、3年間で800語を発信まで使えるようにと、また目的が違っておりますよね。</p>
<p>調査員</p>	<p>はい。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>それから、啓林館は重要語が1040と。この1040と800を見ただけでも200違うというのも、ちょっといろいろ思うところもあるんですけども。</p>

調査員	<p>言い方として比較になってしまうような気がするのですが、あれなんです、教科書会社によっても言葉の表現のところで、重要語彙という言い方をしていたり、発信語彙、受信語彙というような、いろいろな言い方をしているので、便宜上といいますか、その教科書会社における呼び方で一応まとめてあるという形なので、基本的には指導要領に合わせた数というところではあると思うんですけども、それぞれの教科書の会社の中で大事にするものという感じで、多分そのところは設定されているのかなど。特に光村に関しては、1年生の内容がかなり多いので、そういった点は、ほかとは違うところかなという感じですよ。</p>
坂野委員	<p>そうすると、そこは特色ということですよ。</p>
調査員	<p>そうですね。はい。</p>
坂野委員	<p>ありがとうございます。</p>
和田委員	<p>お疲れさまでした。ちょっと確認したいので、ご質問させていただくんですけども、93 ページ、94 ページの総合資料に書かれている順番は、各教科を調査して、特長と思われる順に記載されているという確認でよろしいでしょうか。</p>
調査員	<p>これは基本的には、調査報告書の中での法規に関連する内容、内容と構成に関連する内容、分量・装丁に関連する内容という順番で載せさせていただいています。</p>
和田委員	<p>総合資料のほうにはその順番が変わっているんですけども、それは、あえて特長がある順に書かれているのかの確認をしたいんです。</p>
調査員	<p>そこは、すみません、見落としていた部分です。</p>
和田委員	<p>では、そうとは限らないという確認でよろしいですか。</p>
調査員	<p>はい。</p>
和田委員	<p>了解しました。ありがとうございます。</p>
坂野委員	<p>小学校からの接続をすごく意識されているということがとてもよく分かりました。高校へのつながりを意識しているような特長のあるものはない</p>

調査員	<p>ですか。</p> <p>高校への内容の接続というふうに捉えると、本文の中で扱うテーマというのはやっぱり段階を追って、かなり社会的な内容に移っていくという意味では、高校への接続は段階的に意識しているのかなという印象です。やっぱり高校に入ると本文の内容はかなり複雑になって、もう少し社会だったり世界情勢に応じたような読み物が増えてくると思うんですけども、中学校の教科書でも同じような形で、同じ国際をテーマにしても、より社会情勢とか、もう少しSDGsの内容を深めていくようなものが多いかなという印象です。</p> <p>例えば、啓林館の「BLUE SKY English Course」3年生のほうを見ていただくと、63ページ、ユニット5、これは環境問題に関して、気候変動というものを英語で考えていくときに表を用いたりとか、英文自体のづくりも、やはり1年生よりはかなり複雑にはなっていますので、こういったところで単元で扱うテーマとして、少し高校への接続はあるのかなと思います。</p>
坂野委員	<p>そうしますと、それは全体的な傾向ですか、それとも、この教科書は特にそこが意識されているというところがあったりしますか。</p>
調査員	<p>全体的な傾向です。1年生のほう为学校生活とか自分たちの生活に関連するもので、2年生から徐々にもう少し大きいテーマになっていくという印象です。</p>
坂野委員	<p>ありがとうございます。</p>
小宮委員長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、この報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかの協議に入ります。</p> <p>調査員のほうからは、93ページ、94ページの総合資料の部分が、先ほどの順不同という部分はあるかと思えますけれども、この3点ずつが特長的であるというお話だと理解いたしますが、この総合資料について加除修正等の案はございますでしょうか。特によろしいでしょうか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>

小宮委員長	<p>そうしましたら、この 93 ページ、94 ページを基に採択資料作成委員会の報告書として記載してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>それでは、そのようにして資料を作成して、教育委員会で報告をさせていただきます。</p> <p>本当に長い間、大変だったと思います。お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後になります。特別の教科、道徳です。それでは、調査員をお呼びください。おかけください。</p> <p>それでは、調査結果の報告をお願いいたします。</p>
調査員	<p>では、調査資料が 103 ページからありますので、お開きください。</p>
小宮委員長	<p>総合資料を中心にご説明いただければと思います。</p>
調査員	<p>それでは、総合資料は101ページになります。まず、東京書籍のほうから説明させていただきます。</p> <p>教科書96ページです。</p>
小宮委員長	<p>1年生ですね。</p>
調査員	<p>はい。基本的に1年生で説明します。96ページだけではないんですけれども、各教材の中に『つぶやき』欄というものが設けられていて、自分が読みながら考えたことをそこにメモして、その後、話し合い活動などを通じて、こういった議論になるのではないかとということで、みんな使っております。</p> <p>次に、目次を見ていただきたいんですけれども、「いじめの防止」に関して、あとは「生命の尊重」というところについて、3つの教材がユニットということで、色が塗られていると思うんですが、まとめられていて、全学年で重点的にその項目が取り上げられています。東京書籍については以上です。</p> <p>次に、教育出版です。同じく1年生です。</p> <p>まず1点目なんですけれども、これは全学年の目次を見ると分かることなんですけど、1学年では自分自身に関することが多いんですが、学年が上がるごとに広がって行って、3学年では集団とか社会に目を向けた教材が多くなるように見受けられます。</p>

調査員

2点目です。教材の中で写真、絵本、漫画とか、そういう子どもが引きつけられやすいような教材がたくさん掲載されております。例えば、24ページには漫画です。それから、164ページには全画面に写真が載っております、そういった形で視覚的にアピールする工夫がされています。教育出版は以上になります。

次に、光村図書です。1年生です。

まず、8ページですけれども、巻頭のほうに、1年間の初めに、道徳はどんなことを学ぶであるとか、どんな内容を学んでいくのかということがイラストも交えて分かりやすく載っているので、1年間の学びの見通しを持って取り組めるのではないかとということで工夫されています。

次に、巻末ですけれども、『まなびの記録』というものが設けられておまして、継続的に自分自身の考えの変化、成長というものを振り返って自覚できるようにということで工夫がされています。光村図書、以上になります。

続けて、日文をご覧ください。

最初は22ページから、「考え、議論する道徳」を実現するために、『学びを深めるヒント』なるものが載っており、教科書がこんな感じの表紙になります。22ページからは挨拶に関する道徳の教材が載っております、22、23、24、25ページと挨拶に関するものを読んだ後に、26ページに『学びを深めるヒント』ということで、少し話合いがしやすいような、子どもたちが見て分かるような教材が載っております。

また、この教科書は別冊がついておまして、同じ教科書の中にあるんですけれども、小さいこういうものが、これは付録としてついてきますので、先生たちが新しく別の道徳ノートを使ったりだとかすることなく、別冊ノートも既にあるという状況になっております。日文は以上となります。

続けて、学研を見ていただきたいと思います。「明日への扉」です。

持続可能な世界に向けて、SDGsについてということで、46ページにシロクマのところがあるような、そういう自然愛護の話題が割と多く各学年載っております。一番最初の目次に戻っていただくと、SDGsという項目がユニットになっているということが分かるかなと思います。

次は、情報モラルについてです。22ページにあるチャット機能の画面を使った、『うわさで決めるの』という教材だったり、80ページ、ちょっと飛ばすけれども、そういったところにネット将棋ということで、インターネット上でゲームをやっている中で起きることといったものが挙げられております。インターネットを活用する子たちが増える中で、こういった教材が考えられるように工夫がされています。学研は以上です。

続けて、あか図、あかつき教育図書の中学生の道徳をご覧ください。

	<p>最初の6ページに『道徳 始まりの時間』が設けられております。こちらにも、先ほど別のところにもありましたけれども、1年間の道徳を進めるに当たっての道しるべが最初に書かれております。これも各学年載っております。</p> <p>続けて、18ページ、羽生結弦元選手が載っております。近年活躍したスポーツ選手の教材が載っております。2年生ではまだあまり知られていない水泳の選手が載っていたんですが、3年生になると大谷翔平が載っていて、最近の人が使われているな、子どもたちの興味・関心を引くなと思いました。</p> <p>最後です。日科です。「生き方から学ぶ」では4コマ漫画が随所に見られます。例えば41ページ、あるいは65ページなどに4コマ漫画が小まめに掲載されておまして、子どもたちも理解に助けになっていると思います。</p> <p>また、巻末資料に厚紙で『ウェルビーイングカード』というものがあります。生徒が自分の価値観をまとめたり、他者に伝えやすいようにするためにカードが準備されておまして、こういったものを見せながら、今はこういう話をしているといったところが分かりやすくできるようにされておりました。</p> <p>それでは、特別の教科、道徳の調査報告は以上となります。</p>
小宮委員長	<p>発行者が多いので大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。</p> <p>それでは、ただいまの報告について、委員のほうから質問がありましたらお願いいたします。</p>
大部委員	<p>本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。学研のところに「情報モラルだけではなく、デジタル技術を用いて」という表記をしていただいているかなと。これは要するに二次元コードで、そこで学べるということですか。</p>
調査員	<p>はい。</p>
大部委員	<p>そうだと、ほかの教科書会社の教科書は、そういった特長はあまりない、見られないということでしょうか。</p>
調査員	<p>ご質問ありがとうございます。情報教材に関しては、どの教科書会社もそれぞれ載っております。特に、やはり最近は二次元コードを扱ったものが多くありまして、朗読音声が入っているものがあったり、ワークシートがあったり、関連した動画が表示されるというのは各教科書会社ともにあります。</p>

大部委員	学研は、その中でもかなり特筆すべき部分があるということか。
調査員	どの教科書会社もそれぞれあるという状況で、ICTに関するとか、それは割と内容によったもののほうで、今度そういうのを活用していく人になるための、ちょっと考えるような教材があるというのが学研の情報に関するものです。
大部委員	ありがとうございます。
小宮委員長	後半の部分が特長ということですね。
調査員	はい。
坂野委員	すごく分かりやすい端的な説明ありがとうございました。東書のところにあるユニット教材というのは、今見ていたんですけども、1つだけ除いて、恐らく日科を除いて、みんなユニット教材というものはあるんですね。それぞれ何をユニットにしているか。いじめはみんなあるんですけども、それ以外のものもあったりして、すごく特長を感じられました。そのようにユニットは結構あるんですけども、東書だけユニットを総合所見に入れているというのは、何か東書だけにあるユニットの特色があるのでしょうか。
調査員	東書だけの特色という感じでは正直ないとか、ただ、特にいじめに関しては、学校教育に関わる問題としてはかなり世間でも話題になっているところで、ユニット教材で厚みを持たせてあるので、調査員の中でも特長だろうということで挙げさせてもらいました。
坂野委員	そうなんですね。そうやって考えると、恐らく日文のほうが、いじめに関してのユニットが、1年生を見たときに3つのユニットがあるんですね。むしろこっちのほうがいじめに関してはすごく多い。逆に、あまりいじめが多いので、22項目全部もしかして取り扱っていないのではないだろうかと思ったら、後ろにちゃんと扱っているという、これがあったので、安心したんですけども、むしろそういうふうに特色は別のところにあるのかなとちょっと思ったもので、感想です。
小宮委員長	もしかすると、後の協議の案件に上がってくるかなと思います。ほかにご質問、ご意見、ご感想はありますでしょうか。

	(「なし」と呼ぶ者あり)
小宮委員長	<p>それでは、今挙げていただいた報告書からどの部分を採択資料として取り上げるかの協議に入りたいと思います。</p> <p>まず、今、坂野委員のほうから出ました、報告書で言うと101ページ、東書の2つ目のこれが、果たして教育委員会のほうに東書の特徴として挙げることがふさわしいかどうかという点を協議したいと思います。この点について、いかがでしょうか。</p>
坂野委員	<p>もし東書が特にということでないならば、103ページの中のまた別の東書の特徴がもしあるならば、そちらに差し替えたほうがいいのかと思っていますが、そうだとすると、どこになるのかを調査員の方に伺いたいと思います。</p>
小宮委員長	<p>それでは、これは一つの修正案ということになるかと思うんですが、まず、ここに取り上げるということは、ほかの発行者にない特長と捉えられる可能性がありますので、もしもいじめに関する今言われたユニットとしてというものを取り下げるとすれば、103ページの東書の中から、これはというものがどれになるのかというのは、調査員の方、言えますでしょうか。</p>
調査員	<p>それを除いたものだと、内容と構成部分ですと1点目ですかね。1つ目のところで、コラムが充実していたりとか、教材末の発問で話の内容を広げていくような、ちょっとひねるといふか、そんな部分もあったりします。内容的には1点目かなと。</p>
小宮委員長	<p>内容と構成の1点目のコラム、『ぐっと深める』という部分は東書に見られる特長ということによろしいですか。</p> <p>今、調査員のほうから、差し替えるとすれば1つ目かなという意見がありました。差し替えなくていいのではないかという意見も含めて、ほかにもありましたら、委員の皆さん、ご意見をお願いします。</p> <p>これは総合資料のほうでご説明いただいたので、このコラムの部分は触れていないかと思うんですが、東書で言うと、ページ数等は言えますでしょうか。</p>
調査員	<p>1年生の13ページに載っているものです。あとは38ページにあります。次は49ページと割と頻繁に登場する。</p>

小宮委員長	ちょっと具体的になったかなと思いますが、いかがでしょうか。
調査員	ごめんなさい、もっとありました。間に 28 ページにいじめの行動など、たくさんあります。
小宮委員長	『ぐっと深める』のほう、ページ数を言えますか。
坂野委員	教材の一番最後に、必ず一番下で虎がお話ししているやつです。
調査員	そうです。
小宮委員長	<p>これが特長ということですね。</p> <p>今、調査員のほうから、差し替えるということと言うと、『P l u s』のコラム、『ぐっと深める』等はあることから、内容と構成の1つ目というのが出ましたけれども、ほかにこの点についての修正意見がなければ決を採りたいと考える。よろしいですか。</p> <p>それでは、101ページの東書、2つ目の丸を削除し、そこに103ページの東書、上から3つ目の丸を入れるということについて、賛成の方、挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p>
小宮委員長	<p>挙手全員と認めます。それでは、今のような形で、東書については、2つ目を差し替えて資料を作成していきたいと思います。</p> <p>ほかの点について、修正案はございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
小宮委員長	<p>特になければ、道徳については、101ページ、102ページ、1点修正を加えた形で採択資料作成委員会の報告書として作成し、教育委員会のほうに上げたいと思います。</p> <p>それでは、本当に長期間にわたって道徳の研究ありがとうございました。お疲れさまでした。ありがとうございます。</p> <p>以上で調査員の報告に基づく審議が終了いたしました。大変お疲れさまでした。</p> <p>ここで休憩を挟んで、学校意見の集計結果について審議をしたいと思えます。よろしくをお願いいたします。</p>

<p>小宮委員長</p>	<p>それでは、学校意見の集計結果を報告書にどのように記載するかということについて審議をしていきます。学校意見の集計結果について、私のほうで発行者ごとに特長となる観点を言っていきます。特長が複数あるものもあるという形になります。特長となる観点は、グレー、網かけをしてある観点から選択をしていきます。網かけをしてある観点がない発行者につきましては、数字の多い観点から選択します。数字が同じ場合は、よりその発行者の特長が出ていると考えられる観点を選びます。私の申し上げる観点を採択資料作成委員会報告書に記載してよろしいか、ご審議をいただきたいと思います。</p> <p>まず、1 ページ目の国語をご覧ください。</p> <p>東書は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>三省堂は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>要するに、複数色がついていたとしても、その中で選んでいくという案になりますけれども、国語について、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
<p>小宮委員長</p>	<p>特に異議がなければ、そのような形で記載していきたいと思います。</p> <p>次に、2 ページ目の書写をご覧ください。</p> <p>東書は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>三省堂は、学校から、体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>

小宮委員長	<p>次に、3 ページ目の社会、地理です。</p> <p>東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、各内容の分量とその配分は適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>帝国は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、4 ページ目、社会の歴史です。</p> <p>東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>帝国は、学校から、課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>山川は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、各内容の分量とその配分は適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>自由社は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>育鵬社は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学び舎は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>令書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、5 ページ目、社会の公民になります。</p> <p>東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や</p>

	<p>配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>帝国は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>自由社は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>育鵬社は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>以上でいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、6ページ目、社会の地図になります。</p> <p>東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>帝国は、学校から、各内容の分量とその配分は適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、7ページ目、数学です。</p> <p>東書は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大日本は、学校から、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学図は、学校から、各内容の分量とその配分は適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、各内容の分量とその配分は適切であるとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>数研は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、</p>

小宮委員長	<p>生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>次に、8ページ目、理科です。</p> <p>東書は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>大日本は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学図は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、9ページ目の音楽の一般です。</p> <p>教出は、学校から、『A表現』や『B鑑賞』の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているとの意見が多くあった。</p> <p>教芸は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、10ページ目の音楽の器楽です。</p> <p>教出は、学校から、表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、共通事項をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教芸は、学校から、体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮が</p>

小宮委員長	<p>なされているとの意見が多くあった。 いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>次に、11 ページ目の美術です。 開隆堂は、学校から、『A表現』と『B鑑賞』の領域及び共通事項の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 光村は、学校から、生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるように、表現及び鑑賞の題材に自分らしい思いや考えを持つための工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 日文は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、12ページ目の保健体育です。 東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 大日本は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 大修館は、学校から、イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 学研は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。 いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、13ページ目の技術です。 東書は、学校から、『技術の見方・考え方』や『生活の営みに係る見方・</p>

	<p>考え方』を働かせた学習となるような、内容構成に工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教図は、学校から、体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>開隆堂は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、14ページ目の家庭です。</p> <p>東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教図は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>開隆堂は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位、図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>次に、15ページ目の英語です。</p> <p>東書は、学校から、国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などが生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>開隆堂は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>三省堂は、学校から、小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などが生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、</p>

小宮委員長	<p>工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>啓林館は、学校から、国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などが生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>最後に、16ページ目の道德です。</p> <p>東書は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>教出は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>光村は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日文は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>学研は、学校から、学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>あか図は、学校から、文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>日科は、学校から、中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているとの意見が多くあった。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
小宮委員長	<p>それでは、今、16ページにわたって、学校意見の中から、どこの部分を資料として教育委員会に上げるかということをご承認いただきましたので、今申し上げたところを資料として作成したいと思っております。</p>
梶山副委員長	<p>ちょっと早過ぎてついていけなかったんだけど、例えば、英語の啓林館は最後と言いましたか。</p>
坂野委員	<p>下から2つ目です。</p>

梶山副委員長	下から2つ目ということは、国際理解という内容ですか？
藤原委員	違います。後ろをカウントしていないから、小学校という内容です。違いますか？
小宮委員長	どこでしょうか。
梶山副委員長	啓林館です。
小宮委員長	英語の啓林館。学校から、国際理解を深めることです。
梶山副委員長	そうですね。だけど、これは、ほかと比較すると、小学校とのほうがいいのではないですか。だって、ほかは5、5、5、4、4、6だけど、こっちは5、3とかがいるわけだから、特長的なのは、啓林館は、小学校と関連した構成となるようなほうがいい気がするんですけども。
小宮委員長	<p>ここは、さっき網かけしてあったから、そっちを取ってしまったというところですね。それでは、今、梶山委員のほうから、15ページの英語の中の啓林館につきまして、私のほうでは、国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などが生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされていると読み上げましたが、修正案として、小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているに変えたほうがよいのではないかというものが出されました。これについて協議をしていきたいと思います。ご意見ありましたらお願いします。なければ、決にてそちらに変えたいと思います。</p> <p>それでは、梶山委員のご意見のとおり修正をしたほうがよいと思う方、挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p>
小宮委員長	<p>挙手全員と確認いたしましたので、英語の啓林館については、そのように修正をして資料を作成したいと思います。ありがとうございます。</p> <p>ほかに、今、16ページを申し上げましたけれども、同じようにこちらのほうを選んだほうがよいのではないかというものがありましたら、遡ってでも結構ですので、お願いいたします。</p>

梶山副委員長	書写の光村は、文字を正しく整えてにしていなかったですか。
小宮委員長	はい、文字を正しくで先ほど読み上げました。
梶山副委員長	でも、3つ、6、6、6なので、みんな割と評価が高いんですけども、そうやって見ると、体裁がよく、生徒が使いやすいようなのほうは……。
小宮委員長	または一番下。私が言ってはいけないのか。
梶山副委員長	でも、一番下は、どれも評価に星印は入れていないけれども。
小宮委員長	ああ、そうか。
和田委員	3観点目ですかね。
小宮委員長	ありがとうございます。それでは、今、同じく梶山委員から、書写の光村について、私のほうでは提案として、下から2つ目、上から8番目の観点を資料として挙げることでいかがかという案に対して、3観点目または5観点目のほうがいいのではないかというご意見をいただきました。これについて、ほかの方、ご意見ありますでしょうか。
坂野委員	もしそうであるならば、三省堂と条件が同じなので、同じところになるのかなと思いました。
小宮委員長	三省堂は先ほど……。
梶山副委員長	体裁がよく。
小宮委員長	そうですね。体裁がよくという5観点目を挙げました。そうすると、今、5観点目に変えるほうがよろしいのではないかというご意見をいただきましたが、3観点目のほうがいいという方はいらっしゃいますか。 それでは、修正のための決を採りたいと思います。先ほど書写の光村について、8観点目を資料に挙げると申し上げましたが、修正として5観点目に変えるという意見について、賛成の方、挙手をお願いいたします。 (賛成者挙手)
小宮委員長	挙手多数と認めましたので、5観点目、体裁がよく、生徒が使いやすい

事務局	<p>ような工夫や配慮がなされているに変更して資料を作成したいと思います。</p> <p>同様に、一気に案を読み上げましたけれども、いかがでしょうか。ほかにございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、学校意見に関する協議を終わります。</p> <p>そして、これで本日の審議事項は全て終わったかと思しますので、進行を事務局に戻したいと思います。</p> <p>長時間にわたり、お疲れさまでした。本当にありがとうございました。この後、事務局のほうで本日ご審議いただいた内容を採択資料作成委員会の報告書（案）としてまとめます。それを小宮委員長に見ていただき、最終報告書としたいと思います。その確認については小宮委員長に一任でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」と呼ぶ者あり）</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、小宮委員長に確認していただいた報告書を教育委員会の資料とします。</p> <p>教科書採択についての最終決定は、以前お伝えしたとおり、7月24日の教育委員会定例会となります。その会議には小宮委員長にご出席いただき、採択資料作成委員会報告書に基づいて説明をしていただきます。小宮委員長、よろしくをお願いします。</p>
小宮委員長	<p>よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>また、皆さんのお名前及び議事録について、保護者代表の方以外は8月末以降に公開しますので、ご承知おきください。</p> <p>なお、本日お配りさせていただきました資料、あと事前送付したものについては、また今ご自宅等にある方については、私たち事務局のほうで取りに伺いますので、改めて連絡させていただきます。今、机上有る資料につきましては、このまま置いておいていただければ私たち事務局のほうで片づけますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、閉会の言葉を麻生教育支援担当部長より申し上げます。</p>
麻生担当部長	<p>まずは本日、長時間にわたり本当にありがとうございました。</p> <p>また、小宮委員長におかれましては、長時間、長い進行、そして有意義な中身の濃い採択委員会を進行していただきまして、本当にありがとうございました。さらに、本番の24日にもまたお力添えのほどよろしくお願い</p>

	<p>いたします。</p> <p>最後に、繰り返しになりますが、この委員会については原則非公開として行っておりますので、そのあたりのご配慮についてはお願いできればと思います。</p> <p>本当に1日ありがとうございました。お疲れさまでした。</p>
--	---